世田米·有住 小学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画 ちいきのきせつをかんじよう

^{住田町立} **単元名**

- 単元の目標

 ○学校周辺の自然に触れて四季を感じたり、植物を栽培したり、虫を採集して育てたりすることを通して、その楽しさ、よさに気付くことができる。【社会参画に関する資質能力】

 ○身近な人と関わりあいながら工夫したり協力したりして、自然体験活動をすることができる。

 【人間関係形成に関する資質能力】

 ○様々な自然栽培活動(植物の栽培、虫の飼育など)ついて関心を持ち、進んで関わろうとする。
 【自律的活動に関する資質能力】

評価規	.準	相上		拉压扫 卷
		観点		■ 評価規準● 学校周辺の自然に触れて四季を感じたり、植物を栽培したり、虫を採集して育てたりすること
	Α (◎地域理解	【地理】	・子校同辺の自然に関れて四学を窓じたり、他物を栽培したり、虫を抹来して育てたりすることを通して、その楽しさ、よさに気付くことができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	 ・「楽しい」や「季節を感じるもの」をたくさん見つけたいという気持ちをもち、話し合いながら活動の計画を立てることができる。
	社会参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・様々な自然体験活動をすることから、「楽しい」や「季節を感じるもの」を見つけ、その理由を 考えることができる。
	画に関す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・様々な体験活動の中で見つけた「楽しい」や「季節を感じるもの」について、絵や言葉などで表すことができる。
	、る資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・地域の自然に興味・関心をもち、自然のもの・ことに積極的に関わることができる。
	力	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・体験活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思ったことを伝えたり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。
	関する資係	2 ☆協働するカ	【☆協】	・身近な人々と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・友達と楽しく活動を積み重ねることで、友達の考えを知ることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・自然体験活動を通して学んだことを、今後の生活に生かそうすることができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・自然体験活動で出合ったひと・もの・ことに触れて、面白さ、楽しさ、よさを感じ、さらに関わり合おうとする。
	質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・植物が成長することの喜びや世話を続けることの楽しさを感じたり、生き物への親しみが増した自分や友だちの良さに気付き、前向きに過ごそうとする気持ちをもつことができる。

単元の指導 (全 20 時間)

単元の	指導	_		(全 20 時間)					
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		動かせ	能力	!	
情報収集		1		O野菜の観察·お世話をする。	A	B 好	С	D	
情報収集 実施・改善	8	2		〇育てた植物の花や葉を使って、色水作りをしたり、たたきぞめをしたり、形写しをしたりする。 【図エ】うつしたかたちから		好			
情報収集		1	は	○ 日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		提	伝		
情 報 収 集		1	なややさいを	Oあさがおの種を採り、種の観察をする。		好			
振り返りまとめ	9	1	そだてよう②	Oこれまでの植物の成長のしかたを、カードを見ながら振り返り、まとめる。		多	伝		
実施・改善		1		○あさがおの種の使い方について話し合う。(年長児へのプレゼントの準備をする。)			受		
実施・改善		2		〇あさがおのつるでリースを作ることを知り、つるを輪の形に成形する。		好			
実施・改善	1 0	1		○植木鉢や花壇の片づけをする。			協		
見通しをもつ		1		○虫探しの経験を話し合い、虫のいそうな場所(校庭、中庭、広場)について想起する。		見			
情報収集 実施・改善		1			○校庭にいる虫などの生き物に関心をもち、それらを観察したり、捕まえたりする。		好解	協	
情報収集実施・改善	9	1	虫とな	○捕まえた虫の飼育の仕方を調べ、飼育環境を整える。 【道徳】生命の尊さ「ハムスターの赤ちゃん」		多			
情報収集 実施・改善	9	1	かよし	○身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする心情を育てる。 【道徳】自然愛護「ぼくのしろくま」				感	
情報収集 実施・改善		1		○学校の周り(公園など)の虫などの生き物に関心をもち、それらを観察したり、捕まえたりする。 (「たのしいな、あきのすみた」と合わせて)		好解	協		
振り返り		1		○捕まえた虫のお世話をし、気付いた事をカードに記録する。		提	伝		
見通しをもつ		1	か	○冬になり、学校の校庭や周り(家の周りや通学路)の様子がどのように変わったか、どんな冬があるか想起する。(生き物、植物)		見			
情報収集 実施・改善	1	2	ゆをたのしも	○校庭で、冬の動植物の観察をしたり、霜柱や氷、雪など、特に冬に特有の自然をさがしたりする。 ○雪合戦や雪だるま作り、カラフルブロック作りなどの簡単な遊びを楽しむことができる。		好			
振り返りまとめ		1	う	○見つけた冬を紹介し合い、気付いたことや楽しかったことを発表し、カードに記録する。 【国語】かたかなをかこう		提	伝		

世田米·有住 小学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画 たのしいな あきのすみた 住田町立

単元名

単元の目標

- 〇 中域の自然の楽しさやよさに気付き、絵や言葉であらわすことができる。 【社会参画に関する資質能力】 〇 友達と協働して活動し、友達や地域の人たちと楽しく関わることができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 〇 地域の自然に関心をもち、進んで体験活動に取り組むことができる。 【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規	準								
		観点		評価規準					
	A ©	地域理解	【地理】	・学校周辺や種山の自然に触れたり、地域の人と交流したりして、その楽しさ、よさに気付くことができる。					
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・様々な体験活動の中から「楽しい」をたくさん見つけたいという気持ちをもち、話し合いながら活動の計画を立てることができる。					
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・・様々な体験活動の中で、自分なりの「楽しい」を見つけ、その理由を考えることができる。					
	画に関す	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・様々な体験活動の中で見つけた「楽しい」について、絵や言葉などで表すことができる。					
	、る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・様々な体験活動に興味・関心をもち、積極的に関わることができる。					
	ኸ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・体験活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げることができる。					
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思ったことを伝えたり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。					
	関 す 間 る 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	・身近な人々と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。					
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・友達と楽しく活動を積み重ねることで、友達の考えを知り、助け合って活動することができる。					
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・地域の自然と自分の生活とのつながりに気付くことができる。					
	関自 す律 る 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えことをもとに、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。					
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分でできるようなったことが増えたことを喜び、前向きに過ごそうとする気持ちをもつことができる。					

単元の指導 (全 22 時間)

ľ	1		(全 22 時間)					
時一	時見	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域			せたい		
ŀ								
	1		○保育園でのこれまでの種山での自然体験をスライドを見ながら振り返り、これからの活動について話し合う。		見			
	1		○種山での活動内容を知り、きまりや約束について2年からアドバイスをもらう。 ○2年生とのグループを作り、グループのめあてなどを話し合って確かめる。		見	伝		
	5	秋を見る	〇種山で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物の観察をしたり、木の実などを集めたり、ネイチャーゲームを楽しんだりする。		好	協		
	3	つけよう	○種山で体験したことを紹介し合い、楽しかったことや気づいたことを発表して、カードに記録したり、お世話になった人(高校生や森の案内人さん)に、お礼の手紙を書いたりする。 【国語】なつやすみのことをはなそう	地理	提			
	2		○学校の周りで、秋の草花や樹木、虫などの動植物の観察をしたり、木の葉や実などを集めたりする。 (上有住城跡公園、ふれあい広場)		好	協		
	1		○学校の周りで見つけた秋や、楽しかったこと、気づいたことを発表して、カードに記録する。 【国語】しらせたいな みせたいな まちがいをなおそう かん字のはなし		提	伝		
	1		○秋探しの活動を思い出しながら、自分の住んでいる町や、日本の伝統や文化に親しみ、大切にしようとする心情を育てる。 【道徳】伝統文化の尊重、国や郷土を愛する態度「にちようびのさんぽみち」	地理				
	3		○拾ってきた木の実などで、あさがおリースに飾りをつけたり、おもちゃなど作ってみたいものを考え、制作する。		好		創	
	1	秋の	〇みんなでおもちゃ遊びをする。		好		肯	
	2	おもちゃで楽 -	〇地域の人(年長児やお年寄り)と、一緒に遊ぶ計画や準備をする。 (有住保育園、よりあいカフェ)		見	他		
	1	しもう	〇地域の人(年長児やお年寄り)と、作ったおもちゃで一緒に遊んで交流する。 (有住保育園、よりあいカフェ)	地理		他		
ĺ	1		○楽しかったことをカードに記録してこれまでの活動を振り返り、住田の「楽しい」について確かめる。	地理	提			
		しも	(有住保育園、よりあいカフェ)		理地	地。	地地	

世田米·有住 小学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

単元名 できるようになったよ

単元の目標

- プロスト ○友達の考えを、自分の考えと比較しながら考え、よりよい発表を作り上げようとすることができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○新しい1年生に伝えたいことがよく伝わるように話したり、友達の考えを聞いたりしながら、友達と協力して活動することができる。 【人間 関係形成に関する資質能力】
- 〇1年間の活動を振り返り、自分の成長を感じ取ることができる。【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規	!华	4:9 J=		== fr +p :佐					
		観点		評価規準					
	A ©	地域理解	【地理】	・1年間の活動を振り返り、地域のひと・もの・ことの楽しさ、よさに気付くことができる。					
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・新しい1年生のためにできることについて話し合いながら、活動の計画を立てることができる。					
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・1年間で見つけた「楽しい」について振り返り、その理由を考えることができる。					
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・1年間の活動を振り返り、新しい1年生に伝えたいことについて、絵や言葉で表すことができる。					
	る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・新しい1年生を迎えることに関心を持ち、積極的に関わることができる。					
	力	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり 遂げることができる。					
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・伝えたいことを相手によくわかるように話したり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。					
	関制を関係で	2 ☆恊働する力	【☆協】	・友達と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。					
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・新しい1年生のことを考えながら活動をし、交流することができる。					
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・自分たちの成長やこれからの成長について素直に表現しようとする。					
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。					
	質動 能に カ	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分自身の成長や役割が増えたことに気付くとともに、支えてくれた人への感謝の気持ちと進級への期待感や意欲をもつことができる。					
	1								

単元の指導 (全 14 時間)

単元の	指導	1		(全 14 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域			きたい 能力	
見通しを持つ		2	4	○新しい1年生がもうすぐ入学してくることから、年長児さんとの交流会を行うことを知る。 ○教えたいことや一緒にしたいことを話し合い、計画を立てる。【道徳】よりよい学校生活と集団生活の充実 「もうすぐ2年生」	A	B 見	С	D
実施・改善	- 1	3	あたらし	○年長児に楽しんでもらえるように考えながら、交流会の準備をする。(発表の準備、プレゼント作り) 【国語】てがみでしらせよう これはなんでしょう			他	
実施・改善		1	い一年生をむり	〇年長児によく伝わるようにするにはどうしたらよいか考えながら、交流会のリハーサルをする。 【国語】てんとうむし			伝	
実施・改善		1	かえよう	〇年長児と交流会を行う。			協他	
振り返りまとめ	2	2		○交流会でがんばったことやできたことについて振り返り、カードに記録する。		提		肯
見通しを持つ計画する		2	でき	〇小学校での1年間を振り返り、出来るようになったことを話し合い、お世話になった人たちへの感謝の気持ちを表す。 〇新しい1年生のために、自分たちができることを話し合い、計画を立てる。 【道徳】感謝「みんなだれかに」 【国語】いいこといっぱい1年生		見		
実施・改善		2	るようになっ	○新しい1年生のために、1年間の出来事を絵や文で表すなどして、教室を装飾する準備をする。 【図工】チョキチョキかざり				創
実施・改善	- 3	1	たよ	○教室をきれいにして、新しい1年生を迎え入れる準備をする。			他	
振り返り	3	1	まとめ	〇地域の楽しさ・よさを確かめたり、自分の成長(ついた力)について振り返ったりしながら、1年間の学習のまとめをする。				肯

住田町立 世田米·有住 小学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名 I love Sumita. だいすきすみた

単元の目標

- 日保 日本の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。 【社会参画に関する資質能力】 身近な人々との交流を楽しみながら、相手にも思いや考えがあることに気付き、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取ることができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係を作り上げて楽しんだりすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規進

評価規		組上						
	·	観点		評価規準 ・IETとの関わりを通して、自分たちの住んでいる場所のよさとして受け止めることができる。				
	A ©	地域理解	【地理】	11-12の13477と短して、日月12つの日かている物別のようとして文明年の句にとかできる。				
	В	1 ☆見通す力	【☆見】					
	社会参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】					
	画に関する	3 ☆提案・発信する力	【☆提】					
	る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。				
	5	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】					
	C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・地域の出来事や自分の生活等について、身近な人々と思いや考えを伝え合い、関わることの楽しさが分かり、進んで交流することができる。				
	関制を関係	2 ☆協働する力	【☆協】					
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・身近な人々と一緒に活動する経験を積み重ねることにより、相手にも思いや考えがあることに 気付き、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取っている。				
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】					
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係 を作り上げて楽しんだりすることができる。				
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】					

(全 10 時間)

単元の	指導	Ĺ		(全 10 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		資質	せたい ・能力	1
見通しを持つ	5	1	みんなとあいさつ	○保育園での活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に住田と外国のよいところを探していくことを確認する。 ○たくさんの人とコミュニケーションを図るためのあいさつを学ぶ。	地理	B	C ☆伝	D
	6	2	住田の色	The Colors of Sumita 住田の色 〇住田にあるものの色にはどんなものがあるか、日本語と英語の両方で考える。		★ 好		
実	7 • 8	2	アルファベット	○住田の中にあるものと、アルファベットを用いた言葉の関わりについて気付く。		★ 好		
施	9	2	住田とカナダの比較	〇IETの先生の出身国であるカナダと住田町の生活を比較し、文化の違いについて気付く。 〇IETと一緒にカナダのお菓子作りを体験し、外国の文化について理解を深めると共に、国の文化には違いのあることを楽しみながら感じる。		★ 好	★受	
	11 12	2	住田に関連する数	OIETの先生と一緒に住田に関わる数字に英語も交えて親しむことを通して、住田の特徴に興味関心を持つ。		★ 好		
振り返り	2	1	1年間の振り返り	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○IETの先生と一緒に1年間の成長を喜ぶ会を開く。 (保育園年長時もお楽しみ会でIETに感謝のことばを英語、日本語で伝える活動行っている)				☆創

単元名

単元の目標

○1年生で学習した住田(世田米・有住)の「楽しいな」を想起し、2年生では、住田の「いいな」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。【社会参画に関する資質能力】

評価規準 観点 評価規準									
	観点		: 評価規準						
A ©)地域理解	【地理】							
	1 ☆見通す力	【☆見】	・1年生で学習した住田(世田米・有住)の「楽しいな」を想起し、2年生では、住田の「いいな」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。						
B 社会	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	•						
画に関する	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	•						
る資質能力	4 ★好奇心·探究心	【★好】	•						
	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	•						
C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	•						
す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	•						
能成力に	3 ★他者受容	【★受】	•						
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	•						
関はは、関連を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	2 ☆創出する力	【☆創】	•						
質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	•						
	A B 社会参画に関する資質能力 B する資質能力 C 人間関係形成に D 自律的活動に ©	 (根) (本) (本)<th> 観点 1 ☆ 見] 1 ☆ 見] 1 ☆ 見] 1 ☆ 見] 2 ☆ 8月3~3 1 ☆ 8月3~3</th>	観点 1 ☆ 見] 1 ☆ 見] 1 ☆ 見] 1 ☆ 見] 2 ☆ 8月3~3 1 ☆ 8月3~3						

単元の指導 (全 2 時間)

<u>単元の</u>	怕學			(全 2 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域			せたい ・能力	
見通しを持つ	4	2		1年生での学習を振り返り、昨年の2年生の活動写真や制作物から計画を立てよう。 ※学校探検・種山学習やおもちゃ作りは写真で想起し、1年生との交流学習につなげる	A	B ☆見	С	D

住田町立 世田米·有住 小学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

単元名 2年生になったよ

単元の目標

- 〇家族が自分たちのために家庭内で仕事をしていてくれていることやその気持ちに気づき、自分にもできることをやろうとする。【社会参画
- ○家族が自分だめに多足的では事をしていていたい。ことででの気持ちに対して、自分にもできることでもうだする。【社会参照 に関する資質能力】 ○先輩として1年生に気を遣いながら校舎を案内したり世話をしたるすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】 ○家族や1年生のために自分の役割を果たしたことに自信をもち、これからも続けようとすることができる。【自律的活動に関する資質能力】

新工<u>工</u>工 独

評価規	;+	観点		評価規準						
	A @)地域理解	【地理】	・校舎内を1年生に説明しながら案内することによって、自分の学校の建物や校舎内にいる人のよさに改めて気づくことができる。						
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習についておおまかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。						
	社会参	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・友達の実践と自分の実践を比べたり、友達の実践を参考にして、自分のお手伝いに生かそう としている。						
	画に関する	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・自分のお手伝いの工夫ややってみての気持ちがよくわかるように絵や文で表現することができる。						
	9る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・自分も新たな発見ができるように興味・関心をもって学校探検をすることができる。						
	力	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・お手伝いが難しい状況であっても、家族のために時間や内容を工夫して、決めた期間いっぱ い、お手伝いをやり遂げることができる。						
	C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・1年生に伝わるように分かりやすく話したり見せたりし、1年生の話も分かろうとして聞くことができる。						
	関人 す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力して知恵を出し合い、1年生が楽しく学校探検ができる方法を考えることができる。						
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・1年生の気持ちを考えなが、優しくわかりやすく説明したり案内したりしようとすることができる。						
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・低学年の仲間として、1年生と協力して仲良く楽しく過ごしていこうという気持ちを持つことができる。						
	関 自 す る 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・学校施設や学校内の人について自分なりの方法で表現し伝えようとすることができる。						
	質別 質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・先輩として、家族の一員として仕事をやり遂げることができた自分を認め、自信を持つことができる。						

単元の均道 (全 11 時間)

単元の	指導	ļ		(全 11 時間)					
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域		動かせ 資質			
ス課題設定		2	名	○家族のためにできることは ・1つ学年が上がり先輩になった自分たちが、まずは身近な家族のためにできることがないかを考える。 ・家族の家庭内での仕事を想起し、その仕事をしている家族の気持ちを考え、感謝の気持ちを持ち、お手伝いへの意欲をもつ。 【道徳 家族愛・家庭生活の充実 「だっておにいちゃんだもん」】	A	В	C ★ 受	D	
見通しを持つ	-	1	お手	〇お手伝いの計画をたてよう。 ・自分で考えたお手伝いを「なんのために」「いつ」「どこで」「どのように」するかを考え、カードに記入する。 (保護者あてに教師からの趣旨説明、お願いの文書を出す)		☆見			
実施	4	1		○やったぞ!お手伝い① ・1回目のお手伝いの振り返りと次時の計画(自分の手ごたえと家族の要望を加味して修正を加える)をたて、確 実に、よりよく実行するための工夫を考える。(やり方のコツを家族に聞いてやってみるなど)		★ 解			
改善善		1	せん	○やったぞ!お手伝い② ・家族の要望や仕事のコツなどをきいてやってみた2回目のお手伝いについて振り返り、自分のお手伝いの 様子や、やってみての感想を交流しあう。 ・自分が家族のためにお手伝いを工夫して頑張り続けられたことに気づき、認めることができる。				★肯	
振り返りまとめ		1		○これからも家族のために ・活動を振り返り、ワークシートに絵や文で記入し交流しあう。 ・友達の活動も参考にしながら、これからも続けられそうなお手伝いを考え、発表する。			☆多		
見通しを持つ		1		○1年生に教えてあげよう ・昨年度の自分たちをを思い出し、1年生にしてあげられることを考える。 ・探検の約束や、気をつけることを出し合い、確認する。 ・誰と誰が一緒にいくかを決め、確認する。 【国語 うれしいことば】		☆見			
実施・改善		2	学校のいいな	○校舎探検にしゅっぱつ! ・1年生と一緒に手をつないで校舎探検をする。 ・部屋(場所)の名前と何をする場所なのかを説明しながら探検する。	地理		★ 受		
振り返りまとめ		1	なをおしえよう	なをおしえよ	○探検のまとめをしよう。・1、2年生でそれぞれの立場からの感想を交流し合う。・これからも低学年として協力し合っていくことを確認し、そのための約束も確認する。				☆感
- 返り とめ		1		〇まとめをしよう ・絵や文をワークシートに記入し発表し合う。 【国語 こんなもの、見つけたよ】				★ 肯	

住田町立 世田米·有住 小学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

いいな わたしのまち① 単元名

単元の目標

- ○施設や人に興味関心を持ち、積極的によさについて調べようとしている。 【社会参画に関する資質能力】 ○地図を使って、昨年度同じ学習をした3年生にも更に施設のよさを知ってもらえるように工夫して伝えようとし、アドバイスや感想を参考
- しようとしながら聞くことができる。【人間関係形成に関する資質能力】 〇学習したことをこれからの生活に生かそうとすることができる。(施設利用のマナーなど)【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規	华	#D -		
		観点		評価規準
	A ©)地域理解	【地理】	・自分たちの住んでいる住田(世田米・有住)にいろいろな施設がある事を知り、そのよさを理解することができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てることができる。
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・3年生からのアドバイスをもとに、町や地図の味方について自分たちが考えた以外にも様々な見方や考え方があることに気づき、今後に生かそうとする。
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	まちのよさが伝わるように地図にまとめることができる。
	, る 資 質 能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・施設や人に興味関心を持ち、積極的によさについて調べようとしている。
	ž	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかない時も、原因を考え改善して最後までやり遂げようとする。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・地図を使って、昨年度同じ学習をした3年生にも更に施設のよさを知ってもらえるように工夫して伝えようとし、アドバイスや感想を参考にしようとしながら聞くことができる。
	関する資気	2 ☆協働する力	【☆協】	・友だちと協力しながら活動に取り組むことができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・探検先の相手や友だちの思いに気づき、その思いを大切にすることができる。
-	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習したことをこれからの生活に生かそうとすることができる。(施設利用のマナーなど)
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・学んだことを分かりやすい方法で地図に表し、伝えようとすることができる。
	質動 能に カ	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分たちでできるようになったこと(地図をつくる。取材したことをまとめる。など)を喜び、これからの学習に生かそうとする気持ちをもっている。
L		11		

単元の指導 (全 23 時間)

単元の	指導	ļ.,		(全 23 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	動かせ 資質	せたし ・能力	\
へ 見通しを持つ		2	12	学校の周りに何があるかを思いだし、探検の計画を立てよう。 【道徳 伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度「ながいながいつうがくろ」】	A	B ☆ 見	С	D
情報収集		4		探検しよう。 ※2方向へ2回に分けて探検する。(2h×2回) ※地域の生き物も発見する。学校周辺の探検の計画を立てよう。		★ 好		
振り返り		2		探検マップ作りをしよう。		☆提		
情報収集	5	3	いなわた	地域の生き物を育てよう。 ・育て方を調べよう。(1h) ・生き物のお家を作ろう。(1h) ※観察・世話・記録は随時 【道徳 自然愛護「まいごになった赤ちゃんくじら」】【国語 かんさつ名人になろう】【図エ ともだち見つけた】		☆ 見		
課題への気づ	7	3	したちのまち①	「いいね」を見つけに行く探検の計画を立てよう。 ・探検の計画(1h) ・見学の練習、マナー(2h) 【国語 ともこさんはどこかな】		☆ 見		
情報収集		4	•	「いいね」を見つけに行く探検に行こう。 ・2施設へ2回に分けて(2h×2回)		★ 好		
振り返り		4		「いいね」を地図にまとめて伝えよう。 ・グループ毎に、見つけてきた「いいね」をまとめる。(2h) 【国語 こんなもの、見つけたよ】 ・発表の分担と練習をしよう。(1h) ・3年生に地図で、まちの「いいね」を発表し、アドバイスや感想をもらう。(1h)	地理	☆提	☆協	
振り返りまとめ		1		単元の振り返りをしよう。 ・3年生からアドバイスをもとに、今後の学習に生かそうとする。		☆多		★肯

住田町立 世田米·有住 小学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

単元名

2年生になったよ②~種山のいいなを教えよう~

単元の目標

- 〇わかりやすい言葉を使ったり写真や昨年度の資料を使ったりするなど、よくわかる方法を自分なりに工夫して種山について1年生に
- のカがりですい言葉を使うにりず具や昨年度の資料を使うにりするなど、よくわかる方法を自分なりに工夫して権助にプいて「年生に教えることができる。【社会参画に関する資質能力】 〇同じグループの1年生の様子に気を付けながら一緒に行動し、その気持ちを考えながら話したり行動したりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】 〇先輩として1年生に教えたり、一緒に行動してあげることができたことで成長した自分に自信をもつことができる。【自律的活動に関する
- 資質能力】

評価規準

評価規	.华	観点		評価規準
	A ©)地域理解	【地理】	・体験を通して種山の素晴らしさを感じるとともに、1年時の経験をもとに、そのよさを積極的に 1年生に伝えようとすることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習についておおまかな見通しをもち、計画をたてて取り組むことができる。
	社 会 参	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・同じ種山学習でも昨年と今年、自分と1年生では視点や感じ方が違うことに気づくことができる。 ・昨年とは違う発見から、種山には自分が知らない面があることに気づくことができる。
	画に関する	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・わかりやすい言葉を使う、写真や昨年度の資料を使うなど 1年生がよくわかる方法を自分なりに工夫して種山について教えることができる。
	る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・1年生に教えながらも、自分も種山に興味・関心をもち、自分なりの課題をもって積極的に関わることができる。
	力	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも改善点を見つけて最後まで取り組むことができる。
	C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・1年生や友達が分かるように相手意識をもって伝え、相手の話も分かろうとして聞くことができる。
	関制を関係	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達や1年生と協力しながら活動に取り組むことができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・同じグループの1年生の様子に気を付けながら一緒に行動し、その気持ちを考えながら話したり行動したりすることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの生活や学習に生かそうとすることができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・種山や1年生のよさを自分なりに表現し、伝えようとすることができる。
	質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・先輩として1年生に教えたり、一緒に行動してあげることができたことで成長した自分に自信をもつことができる。

単元の指導 (全 11 時間)

単元の	指導	1		(全 11 時間)				
プ ロ セ	月	一 元						
ス開設設		1	名	○1学期の「学校のいいなを教えよう」を想起し、自分たちの体験から「楽しかった創造学習」の中から1年生に教えられることはないか考え、合同種山学習への意欲と見通しをもつ。	Α	В	С	D
定・計画する・見通し		1	な	 ○オリエンテーションの持ち方を決める。 ○1年生とのオリエンテーションをしよう。 ・2年生が1年生に種山学習のポイント(楽しいこと・楽しい場所・危ない場所・危ないこと・危ないもの等)を教え、 		☆見		
を も つ		1	ったよ②~	グループやグループごとのめあてや約束を決める。			☆協	
実施・改善	1 1	5	たねやまのい	○種山に行き、ゲストティーチャーとともに種山学習を行う。 ・2年生は1年生とのグループで行動する。アドバイスや世話をしながら1年生に教える。 ・ゲストティーチャーとも積極的に関わり、自分の学びも行う。 【道徳 自然愛護】 【図エ たのしかったよ ドキドキしたよ】			☆協★受	
ま		1	いなをおしえ	○おもちゃのアドバイスをしよう ・昨年度の経験を活かし、作れるおもちゃや遊び方を紹介する。 【図エ すてきなものいっぱい】		☆伝		
とめ・振り返り		2	よう~	○活動のまとめをしよう・学習をふりかえりまとめをする。【国語 秋がいっぱい】				★背
9								

(全 29 時間)

単元の	指導	1		(全 29 時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域			せたい ・能力	
ス問題の理解・日		1	名 もっと_	○1学期の探検地図から、次に探検するところを決め、見通しを持つ。(世小) ○1年時の川学習を想起し、活動への意欲と見通しを持つ。(有小)	A	B ☆見	С	D
実施・改善	8 . 9	3	しりたいすみた	○酪農農家を見学し、「いいね」を見つける。(世小)○気仙川に入ったり、気仙川でとれた魚を食べるなど、川学習で川の楽しさ、川の恵みを堪能する。(有小)○ゲストティーチャーから気仙川について学ぶ。(有小)	地理	☆多		
振り返りまとめ	•	2	たのまち ①	○調べて「いいね」をまとめて、地図を使ってグループごとにまとめる。(世小) ○実際に体験した気仙川の様子、川についての注意点など知ってほしいことを地図を使ってグループごとにまとめる。(有小)		☆提		
課題設定		1		○1学期に見学した「まちや」の周りに目を向け、世田米商店街にはどんなお店があるか出し合う。(世小) ○種山学習を想起し、町の森林に目を向け、どんなところがあるか出し合う。(有小)		★ 好		
見通しを持つ計画する		2		○行き先と約束、おおまかな内容、準備物等を決める。		☆見		
実施・改善・情	•	3		○商店街にはどんなお店があるか調べる。(世小) ○鏡岩せせらぎ公園に行き、ゲストティーチャーに質問しながら森林について学ぶ。(有小) ○ハンモック等の体験活動を通して森林の楽しさ・素晴らしさ感じ取る。(有小)	地理	★ 好		
振り返りまとめ		4	もっと	○調べたお店を地図にまとめる。(世小) ○お店の見つけた「いいな」を地図にまとめる。(世小) ○森林体験活動で発見したこと、感じたこと、分かったことを出し合い、短冊に記入する。(有小) ○グループごとに家族や全校のみんなに伝わりやすいように写真・絵を入れる、一文を短くする、書く順番に気をつけるなど工夫して記事をまとめる。(有小) ○まとめた記事を地図に貼り、せせらぎ公園部分を完成させる。(有小)			☆協	☆創
課題設定	9 5	1	しりたいあ	〇もっと詳しく調べたいお店を選び、調べたいことを出し合う。(世小) 〇これまでの学習を振り返り、身の回りから木に関するものを見つけ、住田町は森林日本一をめざしている町であることを知り、学びたいことを出し合う。(有小)		☆好		
実施・改善	1	1	りすのまち	〇グループ毎に見学、取材する計画を立てる。(世小) 〇「まち」と「森林」をむすびつける施設「木工館」での学習計画をたて、約束や質問内容を考える。(有小)		☆見		
実施・改善・情		3		〇グループ毎にお店を見学取材する。(世小) 〇木工館に行き、全体での体験活動、グループごとのインタビューや写真撮影等を含む見学活動を行う。(有小)			☆協	
		3		〇お店の見つけた「いいね」をグループ毎にまとめる。(世小) 〇木工館での学習内容をグループごとにまとめる。自分たちで撮ってきた写真を貼ったり、学んだことから今後自分がしていきたいことや呼びかけたいことも盛り込む。(有小)			☆協	☆感
振り返り まとめ		4		○グループ毎に発表方法(劇、紙芝居、ポスター、クイズなど)を決め、見つけてきた「いいね」を友達に発表する。 (先生方にアドバイスをもらう)(世小) ○グループごとに発表方法を決め、学んだことを発表する。(①グループごとに発表を見合いアドバイスしあう②アドバイスをもとに地域・家族へ向けての発表会を開く)(有小)		☆提	☆伝	
		1		〇単元を振り返り、自己評価と感想をワークシートに記入し交流しあう。 【道徳 伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度】	地理		★肯	

住田町立 世田米·有住 小学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

単元名 いいな わたしたちのまち②

単元の目標

- 〇今までの学習をもとに、さらに自分たちの町について知り、自分たちの町のよさを感じ、表現することができる。【社会参画に関する資質

霕価钼準

		観点		評価規準
	Α	◎地域理解	【地理】	・町について知り、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習についておおまかな見通しをもち、計画をたてて取り組むことができる。
;	社会参画	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・比べたり分類したり、疑問を持ったり、良いところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる・
	に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・町のよさや自分の思いがよりよく伝わるように表現方法を選んで発信することができる。
	関する資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・町について興味・関心を持ち、積極的に関わることができる。
	为	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように相手意識をもって話したり書いたりし、相手の話も分かろうとして 聞いたり読んだりすることができる。
する	人間関係	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力しながら活動に取り組むことができる。
	形成した	3 ★他者受容	【★受】	・友達や関わった人の思いに気づき、大切にすることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習・体験したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。
ਰ ਫ	自律の活	2 ☆創出する力	【☆創】	・町のよさを自分なりの方法で表現し、伝えようとすることがえきる。
質	動	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の頑張りやできるようになったことに気づき、認めることができる。

住田町立 世田米 小学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

単元名 大きくなったよ ありがとう

単元の目標

- つできるようになったことがある事や、それはたくさんの方のおかげである事に気づき、感謝の気持ちを表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 〇発表会の準備や練習を通して、より良い発表にするために友達の考えや思いを聞き入れながら、協働して活動することができる。【人間 関係形成に関する資質能力】
- 〇感謝の気持ちを表現するとともに、できるようになったことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規進

評価規準	;	観点		評価規準
		PO / III		・第1ステージでの学習を通して、自分たちの住んでいる住田のよさを理解できる。
	A ©	地域理解	【地理】	
		1 ☆見通す力	【☆見】	・地域の方や先生方のおかげでできるようになったことに気づき、感謝の会を開く計画を立てることができる。
	B 社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・自分たちについた力を発表するには、どのような発表方法だと招待した方に伝わるのかを考え、決定することができる。
	画に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・できるようになったことが伝わるように、表現することができる。(紙芝居・劇・ペープサート・新聞など)
	資	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・友達の発表の改善点を見つけ、感謝の会をより良いものにしようとする態度で積極的に関わ ろうとしている。
		5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・これまでの学習経験から、どのようにまとめ発表するのかを友達と話し合いながら、よりよい発表会にするために最後までやりとげようをしている。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・感謝の会で、お世話になった地域の方や先生方に感謝の気持ちを伝えることができる。
d	目人 け間 ち関係 ぎ形	2 ☆協働するカ	【☆協】	・グループの友達と発表の準備や練習をする中で、感謝の気持ちを伝えるにはどのようにすればよいのかを考えたり、工夫したりして、協力して活動することができる。
育	も成 りに	3 ★他者受容	【★受】	・発表会の準備や練習を友達と行う中で、友達にも思いや考えがあることに気づき、仲よく活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取っている。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・これまでの学習によって、できるようになったこと自分を見つめ、これからの自分の学びや活動をよりよいものにしようtおすることができる。
d	5 的 § 活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・できるようになったことを表すことを楽しんだり、発表会を通して地域の方や先生方に感謝の 気持ちを伝えることができる。
	動 もに カ	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分でできるようになったことを喜び、前向きに過ごそうとする気持ちをもっている。

単元の指導 (全 21 時間)

単元の	指導	ļ _		(全 21 時間)				
プロセー	月	時	小単元?	主な活動内容と 関連する教科・領域			せたし ・能力	
ス			名	ーもナズの豊野(佐ィフニージ)ナモロケロ・ズキフトン・ナートナネストン	Α	В	С	D
振り返り		1		これまでの学習(第1ステージ)を振り返り、できるようになったことを考えよう。				☆感
見通しを持つ		2		大きなったよ発表会の計画を立てよう。		☆ 見		
実施・改善		3		お世話になった人を招待しよう。 ・招待状を作ろう【国語 しかけカードの作り方】 ・感謝状をつくろう【書写 感謝状の書き方】				☆創
現状把握		1		発表することを決めよう。(できるようになったことの中から、一番ついた力を選ぶ) 【国語 みんなできめよう】		☆多		
見通しを持つ		2	大きくな	グループを決めて、発表の計画を立てよう。 【国語 お話のさくしゃになろう】			☆協	
	1 5 2	4	ったよ あ	発表の準備し、練習をしよう。			★ 受	
		1	りがとう	発表会を見合い、いいところやもっとよくしたいところを考えよう。 【国語 あったらいいな、こんなもの】		★ 好		
実施・改善		2		友だちのアドバイスをもとに発表の仕上げをしよう。		★ 解		
		2		発表会のリハーサルをしよう。			☆協	
		1		発表会をしよう。			☆伝	
振り返り		2		1年間のまとめをしよう。 【国語 見たこと、かんじたこと】【国語 楽しかったよ、二年生】				★ 肯
		2						

住田町立

世田米·有住 小学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

単元名

Let's Cooperate With the People of the World せかいの人々ときょうりょくしよう

単元の目標

- プロ保
 ○身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。 【社会参画に関する資質能力】
 ○身近な人々との交流を楽しみながら、相手にも思いや考えがあることに気付き、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取ることができる。 【人間関係形成に関する資質能力】
 ○自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係を作り上げて楽しんだりすることができる。
 【自律的活動に関する資質能力】

評価規進

評価規準		観点		評価規準
	A ⊚地域理解		【地理】	・IETとの関わりを通して、自分たちの住んでいる場所のよさとして受け止めることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	
1	社 会 参 画	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	
	画 に 関 する	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	資 質 能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
BE	C ■ I	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・地域の出来事や自分の生活等について、身近な人々と思いや考えを伝え合い、関わることの 楽しさが分かり、進んで交流することができる。
する する 資	目 人間 と 関係	2 ☆協働する力	【☆協】	
自自	T形 B成 Jに	3 ★他者受容	【★受】	・身近な人々と一緒に活動する経験を積み重ねることにより、相手にも思いや考えがあることに 気付き、仲良く活動することの楽しさや助け合うことの大切さを感じ取っている。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
する する 資	目自 「律 ら的 【活	2 ☆創出する力	【☆創】	・自分の感性や気持ちを表すことを楽しんだり、日本語と英語での表現を通して対象との関係 を作り上げて楽しんだりすることができる。
質	重動 もに	3 ★自己肯定感	【★肯】	

(全 10 時間)

単元の	指導	Ĺ		(全 10 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		資質	せたい ・能力	!
見通しを持つ	5	1	みんなとあいさつ	○1年生での活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に住田と外国のよいところを探していくことを確認する。 ○たくさんの人とコミュニケーションを図るためのあいさつを学ぶ。	地理	B	C ☆ 伝	D
	6	2	住田の色	Where does Sumita's fruit come from? 住田町の果物は世界のどこから来ましたか。 〇住田での見られる果物にはどんなものがあるか、日本語と英語の両方で考える。 〇外国から輸入される果物の生産地を通して、世界の国に親しむ。		★ 好		
	7 • 8	2	アルファベット	○住田の中にあるものと、アルファベットを用いた言葉の関わりについて気付く。		★ 好		
施施	9	2	住田とカナダの比較	Maple Syrup メープルシロップ OIETの先生の出身国であるカナダと住田町の生活を比較し、文化の違いについて気付く。 OIETと一緒に住田とカナダ両方にある植物から生産するシロップのことについて学び、文化についての共通点や差異について理解を深める。 O国の文化には違いのあることを活動を楽しみながら感じる。		★ 好	→受	
	11 • 12	2	住田に関連する動物	Domestic Animals 家で飼う動物 OIETの先生と一緒に住田でも見られる動物について、英語も交えて親しむことを通して、住田の特徴に興味関心を持つ。		★ 好		
振まとめ・	2	1	1年間の振り返り	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○IETの先生と一緒に1年間の成長を喜ぶ会を開く。				☆創

世田米·有住 小学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画 住田町立 計画づくり 単元名

「すごいな 住田のいいところ」計画づくり

単元の目標

証価相進

評価規準	_	観点		評価規準
	Α @	②地域理解	【地理】	
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	会参画に関する資質能	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	る 資 質 能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
	C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・互いの小学校同士で教え合って学習していくということを伝えることができる。・相手意識をもって自分の考えを伝えることができ、内容を捉えて考えを聞くことができる。
	関 する 資 質 質 形	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力して活動することができる。
	能成力に	3 ★他者受容	【★受】	
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・前学年での学習を振り返り、課題解決に向け必要なことを考えることができる。
	関自 す る 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	

(全 5 時間)

<u>単元の</u>	指導	1		(全 5時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域			せたい ・能力	
現状把握解		1	名	○3年生の学習テーマは『住田のいいところ』であることを知り、2年生での学び「いいな」からだけでは情報が不足であることに気付く。 ・3年生の学習テーマが『住田のいいところ』であることを知り、「世田米(有住)のいいところ」と思う「もの・こと・(ひと)」について思い浮かんだものを発表する。 ※「いいところ」の捉えを確認 すごい=誇れる・自慢できる・紹介したい 等・2年生での学びを想起し、2年生での「いいな」は自分たちの生活に密接した「いいな」であったことに気付き、「町のいいところ」とは、少し異なっていることや紹介するには情報が不十分であることが分かる。	A	B ☆多	С	D ☆感
課題設定		1		○これからの学習の見通しをもつ① ・前時に「世田米(有住)のいいところ」として出てきた「もの・こと・(ひと)」に追加していき、「いいところ」を説明し、【観光・自然】【芸能】(【人】)に分類し、詳しく「いいところ」を見つける学習であることを掴む。 ※有:こで学習をストップしておく。(世田米小3年生からTELが来るまで) ・世:3年生は「住田のいいところ」が学習であり、世田米町と有住町のいいところが揃って「住田のいいところ」 となることを確認し、有住ことは有住に住んでいる人、自分たちを同じように学習を進めているであろう人、つまり「有住小学校3年生」に聞くこととする。		☆見世★好		
有世見通しを持つ	4	1	計画づく	○これからの学習の見通しを持つ② ※担任間で事前打合せをし、確認しておく。 ・世:有小に「有住のいいところ」を教えてもらう連絡をするための、相談や練習を行う。 (分担:誰が、何を:内容、どのように伝え方) ↓ スカイプ(Tvtel)で話をして、有住小学校3年生に「有住のいいところ」を教えてもらうと共に、 「世田米のいいところ」を紹介することを約束する。 ・有:世小から、地域創造学の学習で「お願い」の連絡がくることを知る。 ↓ スカイプ(Tvtel)で話をして、世小に「有住のいいところ」を教えることをOKするとともに、同じように「世田米のいいところ」を教えてもらうことを約束する。 いつ教えるか(日程)は、後で有小からスカイプ(Tvtel)することを伝える。			☆伝世☆協有	
見通しを持つ計画する		1		○これからの学習に見通しをもつ③ すぐ教えることができるかを検討し、2学期に教えあうことを確認する。 ・有: 現時点では、「町のいいところ」を自分達自身が理解不十分であることを自覚し、紹介するために自分自分達自身が「町のいいところ」探しをする必要性を感じる。 ↓ 世田米小学校3年生に「1学期期間は、「それぞれが『町のいいところ』を探し、2学期に紹介しあうこと」を連絡をするための、相談や練習を行う。 (分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方) ↓ スカイプ(Tvtel)で話をして、世田米小学校3年生に「1学期期間は、「それぞれが『町のいいところ』を探し、2学期に紹介しあうこと」を伝える。 ・世: 有住小学校3年生から、地域創造学の連絡がくることを知る。 ↓ スカイプ(Tvtel)で話をして、有住学校3年生に「2学期にそれぞれの『町のいいところ』を紹介し合う」ことを確認する。		☆ 見 (有)		☆協世)
~見		5		〇これからの学習に見通しをもつ④ 学習状況を交流し、【芸能】については、3学期に紹介しあうことを確認する。				
有(課題把握)(通しを持つ)	5	1		・世:有小へ近況報告として、「町のいいところ」【観光・自然】について今一時中断して、運動会練習を通して【芸能】を現在進行形で実際に行っていることを伝えようとする。 ※実際の練習風景をVTRで紹介有住へ近況報告をするための、相談や練習を行う。(分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方) スカイプ(Tvtel)で話をして、有小に権現様を練習している様子を伝える。 ・有:世小の近況報告を聞いて、有小の【芸能】の取組は3学期行うことを伝え、【芸能】については3学期に交流しあうことを提案する。		☆ 見 (有)		

世田米·有住 小学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画 1学 「すごいな 住田のいいところ ~見つけよう~」 住田町立

単元名

単元の目標

- ○地域の名所の特色に気付き、その良さを表現することができる。【社会参画に関する資質能力】 ○名所に対する地域の人々の思いを感じ取るとともに、友達と協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】

〇地域の名所に関心をもち、進んで探究活動に取り組むことができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規進

評価規準		観点		評価規準					
		地域理解	【地理】	・地域の名所について理解を深め、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。					
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。					
	* *	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。					
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・自分たちの地区にある名所の「すごい」「いいな」というところについて、自分の考えを話したり書いたりして表現することができる。					
	る資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・ 自分たちの地区にある名所に関心を持ち、積極的に関わることができる。					
	Ъ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。					
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べる内容や学んだ内容の伝え方を、仲間と意見を出し合って決めることができる。・相手意識をもってまとめたり発表したりできる。					
	資係	2 ☆協働する力	【☆協】	・課題を探究するために、友達と協力して活動することができる。					
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・家族やゲストティーチャーとの対話から、名所に関する地域の人々の思いを感じ取ることができる。 ・見学学習で見たことや聞いたことを進んで記録することができる。					
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り取り組みの現状を認識して、課題解決に必要な学びや活動を考えることができる。					
	関自 す る 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・自分たちの地区にある名所のよさについて感じたことを自分なりの方法で表現し、伝えようと することができる。					
	質動 能に	3 ★自己肯定感	【★肯】	自分や家族が知っている名所を発表し、調べたいことを考えることができる。					

(全 22 時間)

単元の	指導	1		(全 22 時間)				
プロセ	月	時	小単元々	主な活動内容と 関連する教科・領域			せたし ・能力	
ス問題の理解		1	名	○ 自分たちの地区の「いいところ」【観光名所・自然】について、知らないことが多いことを認識する。 ・計画作りの段階で思い浮かべた「住田の『いいところ』」の中から、自分達の地区のものについて、その特徴や良さを実際に発表してみる。そして、自分たちが知らないことが多く、誇りであると感じたり誰かに紹介したりできないということを実感する。	A	B 好	O	D 感
課題設定	5	1		○ 自分たちが地区の「いいところ」【観光名所・自然】について知ったり、その後に互いの学校同士で紹介し合ったりするには、どのような学習が必要か考え、確かめる。 ・目指すゴール(どんな活動ができればよいか)、そのためにどんな学習をしていけばよいか考え、学習計画を確認する。 ○ 単元の学習課題を設定する。 例「世田米(有住)の観光名所・自然の「すごいな」「いいな」を見つけよう。」		見		
情報収集		2		○ 地区の「いいところ」【観光名所・自然】を見つけるために、名所についての情報を集める。 ・自分が知っていることや行ったことがある経験などを話したり、家族から聞いてきたりする。 【道徳】相互理解・寛容 【社会】わたしの住むまちはどんなまち		好		肯
見通しをも		1	すごいな	○ 自分たちがくわしく知りたい場所はどこか、互いの学校の児童に紹介(案内)するにはどの場所が相応しいか、 集まった情報を整理して理由づけて考える。○ 調べる場所を決定する。		多		
見通しをもつ計画する		3	住田のいいところ ~見つ	 ○ 地区の「いいところ」【観光名所・自然】についての調査計画を立てる。 ・グループ分けをする。 ・調べ方を決める。(実際に行く、人に聞く、本で調べる、地図や写真を見る、役場から資料をもらうなど) →「実際に行く」に決まる可能性が高いので、行って、もっと調べたいことは資料を使うなどして追加で調べることを確かめる。 ・「すごいな」「いいな」を見つけるには、どんな観点で見たり、どんな質問をしたりすればよいか、調査の内容を考える。 ・実際に見ることや聞くことなどの調査内容を決める。(事前に決めたことだけに拘らず、その場で聞きたいと思ったことは聞いてよいことを確認する。) ・話し方の練習やマナーの確認をする。 		見	協	
実施	6	5) けよう 5	○ グループごとに調査活動を行う。 ・地域の名所に出かけ、実際に見たり話を聞いたりして分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと調べたいと思ったことなどを記録する。 【道徳】郷土愛 【道徳】自然愛護 【国語】よい聞き手になろう 【社会】わたしの住むまちはどんなまち	地理		受	
振り返り		1		○ 調査内容をまとめる。 ・分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどをグループで共有する。 ・誇りに思えることや、誰かに紹介したいと思うことが見つかったかを確認する。 ・もっと知りたいと思ったことの調べ方を決める。 【社会】わたしたちの市の様子 【道徳】郷土愛		多		創
実施・改善		2		○ もっと知りたいと思ったことを調べる。 ・人から聞いたり、本や地図、写真などの資料で調べたりして分かったこと、感じたこと、考えたことを記録する。	地理	解	受	
振り返りまとめ		1		〇追加で調べたことを含め、「すごいな」「いいな」を見つけることができたか確かめる。 ・分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどをグループで共有する。 ・誇りに思えることや、誰かに紹介したいと思うことが見つかったかを確認する。 【道徳】郷土愛		多		感

住田町立 2学期

世田米·有住 小学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画 「すごいな 住田のいいところ ~教えよう~」 単元名

単元の目標

- ○名所の特色について、相手に伝わるように表現することができる。【社会参画に関する資質能力】 ○名所に対する地域の人々の思いを感じ取るとともに、友達と協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】

〇地域の名所に関心をもち、進んで探究活動に取り組むことができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

ат іш ж—	:	観点		評価規準					
	A @:	地域理解	【地理】	・地域全体の名所について理解を深め、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。					
E	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。					
1 5	会参	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。					
[]]	画に関する	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・自分たちの地域にある名所について互いの小学校同士で伝えることができるように、自分の 考えを話したり書いたりして表現することができる。					
	2 3 −	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・地域全体の名所に関心を持ち、積極的に関わることができる。					
7	カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも,原因を考え,改善して最後までやり遂げることができる。					
RR.	C 人	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べる内容や学んだ内容の伝え方を、仲間と意見を出し合って決めることができる。 ・相手意識をもってまとめたり発表したりできる。					
する る 資	間	2 ☆協働する力	【☆協】	・課題を探究するために、友達と協力して活動することができる。					
能	成	3 ★他者受容	【★受】	・互いの学校児童の話から、名所に関する地域の人々の思いを感じ取ることができる。・地域全体の名所の「すごい」「いいな」について教えられたことに感想を話したり書いたりできる。					
	ט	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り取り組みの現状を認識して、課題解決に必要な学びや活動を考えることがで きる。					
する	自 律 的 活	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域全体の名所のよさについて感じたことを自分なりの方法で表現し,伝えようとすることができる。					
質	動に	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分が住んでいる地区の「すごい」「いいな」を相手に伝えられたことを実感することができる。					

(全 30 時間)

単元の	指導	<u> </u>		(全 30 時間)				
プロセ	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		動かせ 資質		
ス 課計 題の 定り		1	○ 互いの学校同士でそれぞれ地区の「いいところ」【観光名所・自然】を紹介し合い、住田全体の「すごいな」「いいな」を知るには、どのような学習が必要か考え、確かめる。 ・目指すゴール(どんな活動ができればよいか)、そのためにどんな学習をしていけばよいか考え、学習計画を確認			B 見	С	D
見通しをもつ	8	2		 ○ 互いの学校に、自分たちの地区の「いいところ」【観光名所・自然】を教えるための伝え方を決める。 (実際に案内する・テレビ電話で伝える・ポスターなどにまとめて発表するなど) ○ 調べたことの中から教えたいことを選んだり、まとめの構成を話し合ったりする。 【道徳】相互理解・寛容 【国語】つたえよう、楽しい学校生活 			伝	創
まとめ	9	3		○ 決めた方法でグループごとにまとめる。 ・実際に案内するなら、どんな話をするか決める。紙芝居やクイズなど、作る必要があるものは作る。 【道徳】相互理解・寛容 【国語】つたえよう、楽しい学校生活		提伝		
実施		3		○ グループ内で役割を決め、互いの学校への発信に向けて練習をする。 ・グループの中で、互いの学校に案内するときに話す内容を実際に話したり、紙芝居やクイズなどをするのであればそれを読んでみたりする。		提	協	
見通しをも		2	すごいな	○ 交流本番についての計画を立てる。○ 互いの学校の進行具合を確かめ合い、日程を決定する。・テレビ電話などで進行状況を伝え合い、本番の日程やどちらから行うかなど決める。				感
改善善		2	すみたのい	○ 互いの学校への発信に向けて、校内で発表を聞き合ったり作ったものを見合ったりして、内容・発表の仕方についてアドバイスをし合う。 ・内容についてのアドバイス、発表の仕方についてのアドバイスに分けて、共に観点を決めて考えさせる。 ・「すごいな」「いいな」が伝わる内容になっているか。 【道徳】相互理解・寛容		多		
実施・改善	10	3	いところ ~*	○ よりよい発信になるように修正する。 ・自分たちで実際に周りに伝えてみて気付いたこと、友達からアドバイスされたことを修正できるように話し合い修正する。 ・内容についても追加で調べる必要があったら調査活動を行う。		解		
見通しを持つ		2	教えよう~	○ 発表本番に向けた練習をする。・「すごいな」「いいな」が伝わる内容になっているか。			協	創
実施		4		○ 互いの地域の名所について、決めた方法で伝える。① ・バスを使って互いの地区に行き、実際に案内してもらう、紙芝居やクイズなどを使って発表するなど。 【道徳】相互理解・寛容	地理	提好	伝	
実施	11	4		○ 互いの地域の名所について、決めた方法で伝える。② ・バスを使って互いの地区に行き、実際に案内してもらう、紙芝居やクイズなどを使って発表するなど。 【道徳】相互理解・寛容	地理	提 好	伝	
振り返りまとめ		2		〇自分たちの発表(案内・紹介)について、また、相手の小学校の発表(案内・紹介)について振り返る。 ・「すごいな」「いいな」を伝えることができたか。 ・相手の学校から伝えられた内容(情報)について「すごいな」「いいな」と感じのは、どんなことか。 〇各自が思う住田全体の「すごいな」「いいな」についてまとめる。 【道徳】相互理解・寛容【道徳】郷土愛【道徳】自然愛護			受	肯
振り返り	12	2		○互いの発表(案内・紹介)の振り返りについて、伝え合う内容を決め、それに向けた準備をする。 ・手紙を書いて送り合う、ビデオレターにするなど決めた方法で取り組む。 ○互いの発表(案内・紹介)の振り返りについて、伝え合う。 【道徳】自然愛護			受	

世田米·有住 小学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

「すごいな 住田のいいところ ~受け継ごう~」 単元名

単元の目標

〇地域に伝わる芸能を知り、その良さを感じ、表現することができる。 【社会参画に関する資質能力】 〇学習に関わる人との交流や対話を通して、その人の思いや願いに気付くことができ、友だちと協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】

〇自分たちの町に伝わる芸能の良さを表現し、学習したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規準		4a -		== F= 1= 1= 1= 1
		観点		評価規準
	A ©	A ◎地域理解		・地域の芸能について知り、その良さを感じ、伝承活動に積極的に関わることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習の見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・踊りの由来や人々の願いを知り、自分はどのように踊りたいかを考えることができる。
	画 に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・地域の良さや自分の思いがよく伝わるように、交流会で踊りを披露することができる。
	資 質	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・地域に伝わる芸能について興味・関心を持ち、積極的に踊りの練習に関わることができる。
	質能力 C 人間関	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・本番の発表を成功させるために、友だちと協力し、励まし合いながら最後までやり抜くことができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・6年生から聞いたり、友だち同士で教えあったりしながら、より良い踊りを目指すことができる。
	す間 る関 資係	2 ☆恊働する力	【☆協】	・友だちと協力しながら、より良い踊りの発表を目指し、練習に取り組むことができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・友だちや関わった地域の方々の思いや願いに気付き、大切にすることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの学習や生活に生かそうとすることができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域に伝わる芸能、またその良さを表現し、伝えようとすることができる。
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・取り組みを通して、成果と課題を見出し、これからの生活に生かそうとすることができる。

単元の指導 (全 12 時間)

<u>単元の</u>	竹日华	<u> </u>		(全 12 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		働かt 資質	能力	l
現状把握問題の理解	1	1	<u> </u>	○1学期の確認を想起させ、活動への意欲と見通しを持つ。 -3学期に「住田のいいところ」として【芸能】【について交流し合うこととしていた約束を思い出し、世小(有小) に、何についてどのように伝えるかを考える。 ※世小:権現様、水しぎ、五葉山火縄銃鉄砲隊 有小: 大黒舞、外舘甚句、五葉念仏剣舞 「歴史(由来)」「意義」「現在受け継いでいる人たちの思」などにつて、お家の人、地域の人、役場、 6年生(有小)などから聞いて調べ、 <u>壁新聞など?</u> で伝えることのイメージを掴む。 ・有:5月のスカイプで、世小が実際に権現様を踊っていたことを想起し、6年生から踊りを教えてもらい実際に踊って交流しようという見通しを持つ。 【社会】受け継がれる行事 【道徳】尊敬感謝	A	B 見	C	D
情報収集	1	2		○【芸能】につて、各校で調べる。 ・世小:権現様、水しぎ、五葉山火縄銃鉄砲隊 有小: 大黒舞、外舘基句、五葉念仏剣舞「歴史(由来)」「意義」「現在受け継いでいる人たちの思」などにつて、お家の人、地域の人、役場、6年生(有小)などから聞く。 ※世:権現様について教えてくださった瀧本さんから「運動会の時見ていないので、権現様の踊り見たいな」「見たいと思っている人が他にもいるようだ」という言う言葉を耳ミニする。 ※話していただく → 有小へ踊りを見せよう、地域の人(多くの人)にも見せよう。 【社会】受け継がれる行事 ・有:6年生から大黒舞、外舘甚句、五葉念仏剣舞を習い練習する。 【社会】受け継がれる行事【道徳】尊敬感謝		好		
実施・改善	2	1		○調べたことを発表し、世小(有小)との交流に向け改善を図る。 ・学級内(校内)で発表する。※見合う ・「いいところ」がより明確に伝わるようにするためには、どこをどのように図れば良いか考える。 ・改善を図る。 ※資料を付け加える、踊りの練習をする等 ・世:権現様について教えてくださった瀧本さんの言葉を思い出し(「踊っているのを見たいな」)、交流会の場 多くの人に見ていただくために、交流の場としてどこが妥当かを考える。 →役場交流ホール				
計 画 を する	2	1		 ○交流会の打合せを行い、意欲を高める。 ・世: 有小へスカイプをし、交流の準備が完了(調べ学習やまとめが終了)したことを知らせる。 交流では、実際に権現様を踊ること、その踊りを地域の人たちにも披露したいことから役場を交流の場としたいことを提案する。 ・有: 世小の提案を受け入れ、自分たちも6年生から教えられた踊りを披露することを伝える。 		多		
見通し	2	1		○多くの人(地域の人)に来ていただくために どうしたらよいか考える。 ・交流会をPRするために、ポスター、招待状など。		見	協	
実施	2	1		○交流会をPRするためのポスター、招待状を作成する。 ・配付する相手、場所 ・発表会の内容、日時、場所等を明記する。			協	
実施・改善	2	2		○交流会に向けて準備をする。 ・世:有 発表会に向けて、6年生から教わった地域芸能の完成度を高める。 【道徳】郷土愛				感
実施	2	2		○交流会を行う。(住田町役場交流ホール) ・教えてもらった地域芸能を地域の前で披露する。 ・世田米小、有住小互いに地域芸能を発表する。 ・発表を見て感想を発表し合う。 ・参観者の方々からも感想を頂く。 【社会】受け継がれる行事 ・参観者の方々からも感想を頂く。 【道徳】郷土愛			協	創
まとめ	2	1		○活動のまとめをする。 ・これまでの学習をふり返り、これからの生活について考える。 【道徳】郷土愛、尊敬感謝				肯

住田町立

世田米·有住 小学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画 「すごいな 住田のいいところ (まとめ) 単元名

単元の目標

〇自分たちの町に伝わる芸能の良さを表現し、学習したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規	,準			
		観点		評価規準
	A ©)地域理解	【地理】	・ 地域の「もの・こと(人)」を振り返る中で、地域の良さを感じ、理解することができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	
	社会参画	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	
	画に	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・地域の良さや自分の思いがよく伝わるように、発表することができる。
	質 能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	
	能力 C 人間	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
		1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思いや願いを伝えるとともに、友だちの伝えたいこともしっかり聞き、互いに考えを伝え合うことができる。
	す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・友だちの思いや願いを大切に受け止めることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの学習や生活に生かそうとすることができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・地域に伝わること、良さを伝えようとすることができる。
	質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・1年間の取り組みを通して、成果と課題を見出し、これからの生活に生かそうとすることができる。
L	I	l		

単元の指導 (全 4 時間)

単元の	指導	<u> </u>		(全 4 時間)							
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 記 関連する教科・領域							
ス			名		A	В	С	D			
状の理解現 関題の理解現	3	1		○1年間の活動をふり返る。 ・1年間の学習活動を、学級全体で振り返る。				肯			
まとめ	3	2		○1年間の自分の成長を確認し、学習プリントにまとめる。 ・自分の活動で良かったこと、成長したことを振り返り、プリントにまとめる。				創			
まとめ ふ	3	1		○自分の成長についてまとめた内容を交流し、互いの成長を認め合い、まとめを行う。 ・自分と友だちの成長に気付かせながらまとめる。				感肯			

住田町立

世田米·有住 小学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画

単元名

I Can Communicate with the World! 世界とコミュニケーションできるよ!

単元の目標

- 日保 ○身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉え、考えを伝え合うことができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分のよい所を伸ばそうとする。 【自律的活動に関する
- る資質能力】

評価規進

評価規準		観点		評価規準
	A ◎地域理解			・IETとの関わりを通して、他の国の文化と比較しながら、地域の人々の暮らし、伝統など、住田固有のよさについて理解を深め、それらを大切にし地域に積極的に関わることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	
	社 会 参	 2 ☆多角的・多面的 に考える力 	【☆多】	
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	力	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・丁寧に理由付けしたり事例をあげたりしながら、自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことを聞き、考えを伝え合うことができる。
	関する資品	2 ☆協働する力	【☆協】	
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉えている。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	関自 する 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫 したりすることを楽しむことができる。
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・様々な言葉で歌う活動を通して、よりよいものを目指しながら、自分のよさに気付こうとする。

(全 10 時間)

単元の	指導	L		(全 10 時間)					
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		働かせたい 資質・能力 A B C D			
課題の設定	5	2	住田での好きな季節	My Favorite Season in Sumita 住田での好きな季節 〇前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 〇IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 〇第1時 住田町の好きな季節とその理由を考える。発表の準備を始める。 〇第2時 最終準備と学級でのプレゼンテーション発表をする。	地理	★ 好	☆伝		
見通しを持つ	6	2	ボディランゲージ	Body language in different cultures 文化の違う国のボディランゲージ 〇 身体の部位の呼び方や、世界で非言語コミュニケーションのために身体の一部が使われている様々な表現に親しむ。 〇コミュニケーションには言語のみでなく、非言語のコミュニケーションも有効であることを学ぶ。 〇非言語のコミュニケーションを用いると、すでに多くの人に気持ちを伝えることができるようになっていることを確認し、さらに様々なコミュニケーションの方法を学んでいくことを確認する。		★ 好	★ 受		
実	7 • 8	2	異文化とのふれあい	異文化とのふれあい International Cooking (外国料理) 〇世界各国の朝食の主な様子について学ぶ。 〇日本での朝食と比較し、文化の違いに気が付く。		★ 好	★ 受		
施	9	2	人と共有しよう世界の歌をたくさんの	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう 〇世界の歌を原語で歌ってみる。 〇町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★ 好		☆創★肯	
振まとめ・	1	2	1年間の振り返り	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○年間の活動を通じて感じたこと、学んだことを個人でふり返り、「理想の国に必要なこと」というテーマで 感想(作文でよいか検討を。ビデオでショートスピーチを撮影、なども考えられるか)を書く。 プレゼンテーションをするかも検討				☆創	

住田町立 世田米·有住 小学校 第 4 学年 地域創造学 単元計画 単元名 すごいぞ住田!計画を立てよう

単元の目標 ○1年間の学習の見通しをもち、わたし達の町住田町への関心をもつことができる。

亚価 相 淮

評価規	<u>;</u>	観点		評価規準
	Α	◎地域理解	【地理】	
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・自分にとって価値のある課題を見出したり、解決の計画を立てて取り組むことができる。
	社会参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	•
	社会参画に関する資質能力	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	•
	、る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・ふるさと住田町に自発的な関心を向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、 積極的に関わろうすることができる。
	5	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	•
	C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	•
	関する資源	2 ☆協働する力	【☆協】	•
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	•
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	•
	関自 する 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	•
	質動能力	3 ★自己肯定感	【★肯】	•

プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と	4	動かt 資質・	tたい 能力	\ J
セス			元	関連する教科・領域	A	В	С	
ヵ問				○前学年の学習を想起し、地域創造学について確認する。 ・3年生で学習した内容からさらに想像を膨らませ、住田のすごさをさらに深く探求していくことを確認する。				
現状把握問題の理解		1	すごいぞ住E	・3年生のときは伝統芸能や観光について調べたね。もっと住田のすごいところを見つけたいな。		見好		
見通しをもつ計画する	4	2		○学年テーマを基に、単元計画を作成する。 ・「1学期・・・お年寄り 1~2学期・・・気仙川 3学期・・・先人」それぞれどんなことを学びたいかイメージを膨らませる。 ・1年間を通し、地域創造学の学習でどんな力を付けたいか、子ども達と確認する。 (社会的実践力の系統表とリンクさせながら力を子ども達と共有する) ・住田型探究のプロセスを子どもと共有し、単元の流れを理解させる。 (・お年寄りと一緒に遊んだり、手助けしたりしたいな。 ・住田には町のためにがんばった人がいたのかな?調べてみたいな。		見好		

世田米·有住 小学校 第 4 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

すごいぞ住田!お年よりと仲よし 単元名

単元の目標

○高齢者が自分達と共に暮らしていることを理解し、地域の一員として自分ができることを考え表現することができる。

○高齢者が自分達と共に春らしていることを理解し、地域の一貫として自分ができることを考え表現することができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○高齢者との交流や体験活動を通し、高齢者の感じ方や考え方に気づくとともに、友達と協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○高齢者と関わることに関心をもち、進んで探究的活動に取り組むことができる。 【自律的活動に関する資質能力】

部 压 抽 维

	観点		評価規準				
	P/L //IX						
A @	地域理解	【地理】	とができる。				
В	1 ☆見通す力	【☆見】	・身近なお年寄りに関わり、課題を見出し、解決の計画を立てて取り組むことができる。				
社会参	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	・課題を解決するために、比べたり、関係付けたり、条件付けたり、多面的に調べたりしながら、よりよい考えを見出すことができる。				
画に関	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・捉えたお年寄りとの関わり方が、よりよく伝わるようにまとめ方を工夫し、発信することができる。				
資	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・お年寄りに関心を向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。				
, 力 —	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・お年寄りと関わる上で、自分のやるべきことをしっかりと行い、やり遂げた喜びを味わう経験を 積み重ね、自分にとって難しいと思うことでも、最後までやり遂げることができる。				
С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・体験や交流を通し考えたことを、伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことや自分の聞きたいことの中心をとらえて聞き、考えを伝え合うことができる。				
す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と互いの思いや願い、考えを交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。				
質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・お年寄りの思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉えることができる。				
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、自分の現状を認識してこれからの学びや活動に必要なことを捉えることができる。				
関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・体験や交流を通し考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意 工夫したりすることを楽しむことができる。				
質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分のことは自分で行い、よく考え判断して行動し、自分のよさや可能性に気付き、よい所を 伸ばそうとすることができる。				
	B 社会参画に関する資質能力 C 人間関係形成に D 自律的活動に	A ② 地域 理解	A ②地域理解 1 ☆ 見] A ☆ 見通画・				

単元の指導

(全 17 時間 ※有住13時間)

	在 元	主な活動内容と 関連する教科・領域			せたい ・能力				
		住	(a) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c		A	В	С	D	
現状把握問題の理		1		○オリエンテーション ・知りたいこと、やってみたいことを出し合い学習の意欲付けを図る。 ・お年寄りについてのイメージを広げ、認識を共有する。(ウエビングマップ)		見			
担理 握解				・自分のおじいちゃん、おばあちゃんは分かるけど、住田にはどんなお年寄りがいるんだろ う?		ال			
情報収集		1			〇社会福祉協議会の方をお招きし、住田町の施設の様子や介護状況、お年寄り達の様子や気持ちを聞き課題を見出す。 ・収集した情報の整理や分析が容易になるよう、学習シートなどを工夫しインタビュー活動を行う。 ・住田町社会福祉協議会(46-2300)※仮予約済み 新年度日程を詰めて再度連絡	地理	見	受	
集づき				・お年寄り達のために、施設にはいろいろな工夫があるな。					
課情報収	4 . 5	3 (2		〇キャップハンディ体験を通し、年をとることによる体の不自由さや、どのような接し方がよいのかを考える。 ・岩手県立福祉の里センターに依頼し、下肢障がい体験(車椅子)・高齢者疑似体験を行う。 (予約が殺到するため、早めの予約が必要) ・岩手県立福祉の里センター(下27-0294) 【国語】だれもが関わりあえるように「手と心で読む」	地理	好		肯	
定集		<u> </u>	ع	・体が思うように動かないな。					
見計します		1	もに生きる	○施設の方の話や自分達の体験を振り返り、よりよい関わり方について考え、交流する計画を立てる。 ・相手意識をしっかりともち、よりよい活動になるよう計画づくりを行う。 ・・おじいさんおばあさんの大変さが分かったぞ。もっと仲良くなりたいな。		見			
持るつ			くやさ						
実施		4	しい町	○お年寄りと仲良くなるための交流会に向けて、準備をする。 ・運動会で披露する伝統芸能を、交流会で披露することを見据え、練習も準備活動とする。					
· 改 善		2	住田町	・地域の伝統芸能を披露したら、喜んでくれるんじゃないかな。		多	協	創	
実施			S	〇地域にある老人ホーム(世田米・・・すみた荘 有住・・・グループホーム「かっこう」)を訪問し、交流会を行う。		hΖ			
改善善		2		・喜んでくれた、うれしいな。・お年寄りの人達は、こういうことをすると喜んでくれるんだ。地域のお年寄りと関わると	地理	好解			
振まり				○体験を通し分かったことや感じたこと・考えたことについてまとめる。 【道徳】相互理解「おせなかった車いす」 【社会】事故・事件のないまちを目ざして		+8			
振り返りまとめ	6	2		・自分たちがしたことを友達に教えたいな。 ・おじいちゃん・おばあちゃんと一緒に笑顔になれたな。		提			
実施・改善		2 (1)		○報告会を開き、交流し合う。 ・○○さんはいい活動をしているな。 ・みんな学びの多い交流会になったんだな。			伝		
振り返り		1		Oこれまでの学習を振り返り、今後の活動について考える。 ・地域にどんなお年寄りがいるか分かったから、これからの関わり方を工夫していきたいな。 ・町で困っているお年寄りがいたら、手助けしてあげたいな。				感肯	

住田町立 世田米·有住 小学校 第 4 学年 地域創造学 単元計画

単元名 すごいぞ住田!気仙川のためにみんなでできること

単元の目標

○気仙川の特色に気付き、今後の在り方について考えることができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○気仙川にたずさわる人々の思いを感じ取ることができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○気仙川に関心を持ち、進んで探究活動に取り組むことができる。 【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規		観点		拉 压 抽 徒
		1000 日本		評価規準 ・気仙川について理解を深め、気仙川を守る取り組みに積極的にかかわることができる。
	A ©	A ◎地域理解		・ X(Ⅲ)川に プいて理解を承め、X(Ⅲ)川でする取り組のに負煙的にかかりることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・気仙川に関わり、自分にとっての価値あることを見出したり、課題について解決の計画を立てたりしながら、取り組むことができる。
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・気仙川についての課題を解決するために、比較したり、関係づけたりしながら、よりよい考え を見出すことができる。
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・気仙川のよさがよりよく伝わるように、適切な方法を選んでまとめ、発信することができる。
	, る 資 質 能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・気仙川に自発的に関心を向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的にかかわることができる。
	ቻ ታ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・興味・関心のあることだけでなく、気仙川のためにやるべきことをしっかりと行い、最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことや、自分の聞きたいことの中心を捉えて聞き、考えを伝え合うことができる。
	関する資	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	質形 能成 カに	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や友達の思いや願い、考えを、その背景にあるものに目を向けながら大切に受け 止めることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・課題の解決に向けて取り組みの進捗状況を振り返り、現状を捉えた上で、これからの学びや活動に必要なことを捉えることができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・よく考え判断して行動し、自分のよさや可能性に気付き、よい所を伸ばそうとすることができる。
	カ			

単元の指導

(全 36 時間*世小は40時間)

単元の	7日今	•		(全 36 時間*世小は40時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		資質	せたい	
現りの理解		1		〇これまでの川体験を想起し、活動への意欲と見通しをもつ。 ・気仙川について知っていることを振り返る	A	B 見	С	D
課 定題 設		1	調べよう	○地域の気仙川について調べたいことを決める。 ・【道徳】わたしたちの誇り世界遺産(岩手県道徳教育郷土教材集)		見		
実施・改	6 7	6 4	地域の気仙	〇地域の川を調べる(世小は、水生生物調査のためプラス2時間)	地理	好解		
善善		1	JII	○自然との共存について考える。 ・【道徳】ふれあいの森で		多		
振ま りりと 返め		1		○地域の川についてまとめる		提		
設課 定題		1		○気仙川全体について知りたいことを決める		見		
見通しをも		1 (3)	調べ	○個人課題を調べる(世小は、プラス2時間)		好		
善集 情報収	9	8	よう気仙川	○気仙川探検をする ・探検の計画を立てる ・校外学習 ・まとめ		見好	協	
まとめ振		1		○気仙川探検で見たこととを復興を通して、故郷について考える ・【道徳】あの景色をもう一度(岩手県道徳教育郷土教材集)			受	
り振り		2		〇調べたことを、新聞などでまとめる ・【国語】調べた事を整理して書こう		提		
収情 集報		2		○気仙川の環境保全を行っている人にインタビューする			伝受	
見 通計 し画		2	守ろう.	○気仙川のために自分たちができることを話し合う			協他	
をす もる つ	1 0 •	1	わたした	○気仙川保全の計画を立てる		見		
実施改善	1	2	ちの気仙川	○気仙川保全の活動をする	地理	解	協	創
振ま りりと 返め		1	<i>,</i> ,,	○気仙川保全の活動を振り返る				感
現問 状題 のの		1	考	〇これまでの学習を想起し、気仙川の未来について考えていこうという思いをもつ ・【道徳】気仙川のために・・・(教師作成教材)		多		
把理 握解	1	1	えよう	〇これからの気仙川について話し合う			他	
まとぬ	1	3	未来の	○気仙川未来日記をまとめる		提		創
あ振り	2	1	気仙	〇気仙川未来日記発表会をする 		提	伝	創
返 り		1	JII	○活動全体を振り返る				自

世田米·有住 小学校 第 4 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

単元名 すごいぞ住田!昔から今へと続くまちづくり

単元の目標

○先人の功績を知り、今後のあり方について考える ○先人の功績から見方を広げ、地域の発展にたずさわる人々の思いや願いを感じ取ることができる 「人間関係形成に関する資質能力」 ○先人の功績に関心をもち、進んで探究活動に取り組むことができる 【自律的活動に関する資質能力】

部 在 抽 淮

評価規	<u> </u>	観点		評価規準
	A ©	沙地域理解	【地理】	・先人ついて理解を深め、昔から今へと続くまちづくりの取り組みについて関心をもつことができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・先人の功績を学ぶことで、自分にとっての価値あることを見出したり、課題について解決の計画を立てたりしながら、取り組むことができる。
	社会参	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・ふるさとの課題を解決するために、比較したり、関係づけたりしながら、よりよい考えを見出すことができる。
	画に関する	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・先人の功績がよりよく伝わるように、適切な方法を選んでまとめ、発信することができる。
	る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・先人の功績に自発的に関心を向け、それを自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的にかかわることができる。
	ቻ ታ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・興味・関心のあることだけでなく、ふるさとのためにやるべきことをしっかりと行い、最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことや、自分の聞きたいことの中心を捉えて聞き、考えを伝え合うことができる。
	関制の関係	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・先人の思いや願い、考えを、その背景にあるものに目を向けながら大切に受け止めることが できる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・課題の解決に向けて取り組みの進捗状況を振り返り、現状を捉えた上で、これからの学びや活動に必要なことを捉えることができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・よく考え判断して行動し、自分のよさや可能性に気付き、よい所を伸ばそうとすることができる。

単元の	7184			(全 10 時間 *世小12時間)	-					
プロセ	月	時	時	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域		働か1 資質		
ス			名		Α	В	С	D		
現状の把握 問題の理解		1		○社会科で学んだ、郷土の偉人や先人の功績について振り返り、住田町ではどうかについて見通しをもつ。【社会】鹿妻穴堰(鎌津田甚六)		見				
課				○家族などにインタビューしたことや、自分が調べたことについて報告し合い、共通の課題を設定する。						
題設定		1				見	協			
		1		〇与市と江刺街道について知る。 ・社会科副読本「わたしたちの住田町」	地理	l	受			
情報	1 . 2	'			地理		×			
収 集		2		○栗木鉄山について知る。 ・GTによる出前授業	地理	!	受			
実施・改善		2 (3)		○住田町の昔から今へと続くまちづくりについて、自己課題をもって調べる。 ・参考資料は、「住田風土ガイド」など		好解				
振り返りまとめ		3 (3)		○地域の先人の功績についてまとめ、交流する。 ・【道徳】五十年後へのおくりもの ・先人の功績がよりよく伝わるように、適切な方法を選んでまとめる		提	伝	感		

住田町立 世田米·有住 小学校 第 4 学年 地域創造学 単元計画 単元名 すごいぞ住田!これまでの学習をまとめよう

単元の目標

○1年間を振り返り、地域への理解を深め、自他の成長に気付くことができる。

亚価 相 淮

計逥况华		観点		評価規準
		地域理解	【地理】	μ Γ Ιμαγγυ ν-
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	•
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	
	会参画に関する資質	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	•
	る 資 質 能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	•
	カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	•
	C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の成長を伝えることができるとともに、友達の伝えたいことや自分の聞きたいことの中心 を捉えて聞き、考えを伝え合うことができる。
	資係	2 ☆恊働する力	【☆協】	•
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・交流会を通し、友達の成長を大切に受け止めることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・1年間の学習を通し、感じたことや考えたことをもとに、創意工夫を凝らしまとめ活動に取り組むことができる。
	質動 能に カ	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分のよさや可能性に気付き、よい所を伸ばそうとすることができる。

単元の指導 (全 3 時間)

単元の	指導	Į.		(全 3 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		動かt 資質・	能力	
現状把握問題の理解		1	1 すごいぞ住	 ○1年間の活動を振り返る。 ・1年間の活動をプリント等を利用しながら、学級全体で振り返る。 ・ 1 学期はお年寄りとの関わり方について学んだね。 ・ 2 学期は、気仙川について調べたね。これからもきれいな川を守っていくために、自分達 	A .	В	С	D 肯
振り返りまとめ	3	2	田!~ 計画を立て	○1年間の自分の成長を確認し、学習プリントにまとめる。 ・自分の身に付いた力やできるようになったことを振り返り、成長の足跡としてプリントにまとめる。 ・わたしは、調べたことを分かりやすく発信する力が付いたな。 ・地域の人の思いや願いを大切に受け止めることができるようになったよ。				創
振り返りまとめ		3	よう~	○自分の成長についてまとめた内容を交流し、互いの成長を認め合い、まとめを行う。 ・自他の成長に気付かせながら、まとめとする。 ・自分だけでなく、友達も地域創造学を通して、できるようになったことが増えたんだな。 ・5年生になっても、住田のことをもっと勉強していきたいな。			伝受肯	

住田町立 単元名 世田米·有住 小学校 第 4 学年 地域創造学 単元計画

If I Made My Own Country もし、自分だけの国を作ったら

単元の目標

- 日保 ○身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉え、考えを伝え合うことができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分のよい所を伸ばそうとする。 【自律的活動に関する
- る資質能力】

評価規進

,準	#B -		50 左 40 举				
	観点		評価規準				
A ©	地域理解	【地理】	・IETとの関わりを通して、他の国の文化と比較しながら、地域の人々の暮らし、伝統など、住田固有のよさについて理解を深め、それらを大切にし地域に積極的に関わることができる。				
В	1 ☆見通す力	【☆見】					
社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】					
に 関	3 ☆提案・発信する力	【☆提】					
資 質	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心を向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。				
ັ້ກ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】					
С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・丁寧に理由付けしたり事例をあげたりしながら、自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことを聞き、考えを伝え合うことができる。				
す間 る関 資係	2 ☆協働するカ	【☆協】					
質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉えている。				
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】					
関自 す律 る的 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫 したりすることを楽しむことができる。				
質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・様々な言葉で歌う活動を通して、よりよいものを目指しながら、自分のよさに気付こうとする。				
	A B 社会参画に関する資質能力 C 人間関係形成に D 自律的活動に©	観点	親点 A ②地域理解 「 本見】 A ② 地域理解 「 本見】 A ※ 見通すす か				

プロセー	月	一 兀 関連する教科"領域				動か 資質		
ス課題の設定	5	1	名 マナー・食文化 マナー・食文化	Table Manners & Food Culture Around the World 世界各国からのテーブルマナー・食文化 〇前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 〇IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 〇日本と外国の食事作法の比較をしながら「国」の文化等について考える	A 地理	★ 好	C ★受	D
見通しを持つ	6	3		Let's Make My Own Country 自分だけの国を作ろう 〇子どもたちが、自分でユニークな国や文化をつくる活動に取り組む。 〇第1時 どんな種類の国を創りたいか考えはじめる。国名、国旗の色やデザイン(どんな動物や有名な食べ物がその国を象徴するか)を創造する。 〇第2時 ブレゼンテーションの準備 〇第3時 最終準備と学級でのプレゼンテーション発表。		★ 好	☆伝★受	
	7 • 8	2	異文化との	異文化とのふれあい International Cooking (外国料理) 〇ペトナムの主な様子について学ぶ。 〇米の調理方法の違いを確認し、住田とペトナムの文化を比較する。 〇ライスペーパーを使った調理を体験する。		★ 好	★ 受	
実 施	9	2	世界の歌をたくさんの	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう 〇世界の歌を原語で歌ってみる。 〇町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★ 好		☆創★肯
振り返り	2	2	1年間の振り返り	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○年間の活動を通じて感じたこと、学んだことを個人でふり返り、「理想の国に必要なこと」というテーマで 感想(作文でよいか検討を。ビデオでショートスピーチを撮影、なども考えられるか)を書く。 プレゼンテーションをするかも検討			☆伝	☆創

世田米·有住 小学校 第 5 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

住田の宝、森を生かそう 単元名

単元の目標

- ○住田町の林政の事業内容を知り、取り組みや林業のよさを理解し、よりよい社会作りに向けて提案をすることができる。

○住田町の林政の事業内谷を知り、取り組みや林業のよさを理解し、よりよい社会作りに同けて提案をする 【社会参画に関する資質能力】 ○課題解決に向けて、林政に関わる人との対話や、グループでの協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○住田町の林政について関心をもって学び、自らの取り組みをふり返りながら探究を続けることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規	-	観点		評価規準
	A	◎地域理解	【地理】	・住田町の林政の事業内容について学び,取り組みや林業のよさを感じ,積極的に関わる ことができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・次の活動を見通し、計画を立てて取り組むことができる。
	社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・林政の各取り組みや林業のよさについて,それぞれのを統合しながら考えることができる。
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・林政の取り組みや林業のよさについて,自分の思いがよりよく伝わるように,表現を工夫して発信することができる。
	る資質能力	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・ 林政の取り組みや林業について興味・関心をもち,積極的に関わることができる。
		5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
-	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えを分かってもらえるように相手意識をもって話し、相手の話を分かろうとして聞くことができる。
	関する資源	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力しながら活動に取り組むことができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・ 友達や関わった人の思いに気付き、大切にすることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの生活や学習に生かそうとすることができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・林政の取り組みや林業のよさを自分なりの方法で表現し、伝えようとすることができる。
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の頑張りに気付き、認めることができる。

単元の指導 (全 65 時間)

指導	•		(全 65 時間)				
月	時	小単元を	主な活動内容と 関連する教科・領域		能力		
4	1	計画づくり	学年の学習テーマを確認し、学習の見通しをもつ。 ・住田町の産業の過去と現在(栗木鉄山跡・林業)を学び、提案していくことを伝える。	A	B 見	C	D
4	2	栗木鉄山	栗木鉄山について興味をもったことについて自分の力で調べる。 ・インターネットや住田町史で調べる。 ※授業後には、家庭で家族に聞いてみる。	知	好		
4 □ 5	1	栗木鉄山	栗木鉄山について調べたことを交流し、その中からさらに自分が追究したいことを見つけ、課題を設定する。 栗木鉄山見学で何を知るためにどのような方法で解決するのか、解決の道筋を立てる。 ・一問一答のような形で、知りたいことをまとめておく。 ・フィールドワークでゲストティーチャーに質問して解決することを確認する。		見		
5	4	栗木鉄山	栗木鉄山を見学し、ゲストティーチャーの説明を聞いたり疑問点を質問したりして自分の課題を解決する。 先人の苦労や功績を知ることにより、地域に誇りや愛着をもつことができる。	知	解		
6	5	木	・1グループ3人程度で、グループでまとめさせる。			伝受	創
6	2	森林・林業	住田町の林政について興味をもったことについて自分の力で調べる。 ・インターネットを中心に調べてみる。 ※授業後には、家庭で家族に聞いてみる。 現在住田町で力を入れている産業や木の良さとは何かを知るために林政課の方をお呼びし、お話を聞く。	知			
6	1	宿泊活動	この宿泊活動を通して、木の良さを体感することを確認する。		見		
6	2	宿泊活動	宿泊活動では、どのような体験活動をするのか活動の流れを確認する。		見		
6 □ 7	5	宿泊活動	活動の役割分担、やり方等を確認する。		見		
7	2	宿泊活動	宿泊活動を通して感じた森林や木の良さについて感じたことや考えたことを作文で書き, 全校に発表する。 【道徳】自然愛護		提	伝	
8 9	12	林	森林・林業について自分が調べたいことを見つけ、個人やグループで調べる。 ・林業、木造建築、遊び(クップ、種山高原:森の案内人、チェーンソーアート)、燃料、教育(森林環境教育、木育プロジェクト)、害獣駆除 ※社会:エコ、消費者挙育(間伐材、気づかい運動、環境ラベル) ・ICT活用方法を学び、練習する。 【道徳】自然愛護		好解		
9 1 0	7	森林・林業	調べたことをまとめ、発表する。			伝受	
	月 4 4 4 5 5 6 6 7 7	A 1 4 1 4 2 4 2 6 5 6 2 6 1 7 2 8 9 9 1 7 2	内 1 2 1 4 中 1 2 1 4 5 2 1 2 1 日 1 2 1 2 1 2 1 2 1 日 1 2 1 2 5 2 1 7 日 1 2 5 2 1 7 日 2 1 2 5 2 1 日 2 1 2 5 2 1 日 3 2 1 2 3 2 4 日 3 4 4 4 4 4 4 4 日 3 4 4 4 4 4 4 4 4 日 4 4 5 2 1 2 5 2 4 4 日 4 4 5 2 1 2 5 2 7 1 4 4 5 2 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4<				大

現状把握	1 0	2	森林・林業	学習したことをもとに住田の森林や林業をもっと良くしたいことやみんなに広めたいことを考える。 【国語】「明日をつくるわたしたち」		見		
課題への気付き	1 0 1 1	2	森林・林業	提案書を書くための材料を集めたり、調べたりする。	知	好解		
見通しをもつ	1	1	森林・林業	提案書の構成を考え、必要な内容や不必要な内容を分類したり、図や表などの表現の仕方を妥当性を考えたり し、情報を整理する。		多	伝	感
実施・改善	1 1 1 2	7	森林・林業	前時の学習をもとに材料を集めたり、調べたりする。(2次調査)			伝	
振り返り	1 2	7	森林・林業	調べたことをもとにまとめる。 よりよい社会作りに向けて提案をする。 ・リハーサルを行い、友達から改善点を聞く。 ・修正を加えて、発表会を行う。 【道徳】寛容			伝	創
振り返り	1	2	森林・林業	単元を通して感じたことや考えたことをまとめる。 ・今後の学習や、自分の生き方にふれる。 【社会】森林と生きる 【道徳】郷土愛				肯

住田町立 有住 小学校 第 5 学年 地域創造学 単元計画

単元名 ハロウィンでつながろう

単元の目標

〇ハロウィンについて調べたことを相手に伝わるような表現の仕方や発信方法を考えることができる。【社会参画に関する資質能力】 〇ハロウィンについて何をどのように伝えればよいかを話し合う中で、自分の考えが伝わっているかを確認しながら伝えたり相手の考えを聞いてさらによりよいものにしたりすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】 〇保育園にハロウィンについて伝える中で感じたことや考えたことから、成果や課題を振り返ることができる。【自律的活動に関する資

質能力】

新压±19 淮

評価規準				
マ ル女国				
て、保育園				
ような学習の				
のように伝え				
)仕方で, ど				
00				
まで粘り強く				
₣の考えを聞				
的にグループ				
こ受け止め,				
かを考えた				
したりして創				
り返りをして				

単元の指導 (全 〇 時間)

単元の	指導	<u> </u>		(全 〇 時間)				
プ ロ セ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域	4	動かせ 資質・	tたい 能力	١
現状把握問題の理解	1 0	1	名 ハロウィン	・これまでの取り組みを振り返り、保育園児に何を伝えるとよいかを考える。 ・何をどのような方法で伝えるかを考える。	A 地	В	С	D
情報収集	1 0	1	ノーハロウィン	・伝えたいことをグループで分担して調べる。		解	協	
実施・改善	1 0	1	ハロウィン	・保育園児にハロウィンを分かりやすく伝えるためにはどのような表現方法で伝えるとよいかを考え,発表の練習をする。		提	受	

住田町立 有住 小学校 第 5 学年 地域創造学 単元計画

単元名 有住の伝統を受け継ぐ

単元の目標

- ○地域の方の思いや願いを受けて、自分達の伝承芸能の踊りに生かすことができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○地域の方の思いや願いをもとに仲間や下級生にどのような点に気を付けて踊ればよいかを分かりやすく教えることができる。 【人間関係形成に関する資質能力】
- ○伝承芸能を学習していく中で,有住の伝承芸能を受け継いでいこうという思いをもつことができる。 【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規	.华	48 JE		5位 压 抽 进
		観点		評価規準
	A @)地域理解	【地理】	・有住に伝わる伝承芸能を伝える地域の方々の思いや願いを受け、発展させていこうと取り組んでいる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・ 伝承芸能にはどのような思いや願いがあるかを知るための解決の見通しを持ち、計画を立てている。
	社 会 参	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	・様々な思いや願いを知り,それらを根拠をもって関連付けたり妥当性のあるものを見出したり してまとめている。
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・地域の方や上級生の伝承芸能への思いや願いを受け、自分たちの踊りのめあてを立て、踊りを練習したり披露したりしている。
	る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・自分が踊る踊りについて興味があることを見つけ、追求して調べている。
	5	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・地域の方の思いや願いを聞くために身近な人にインタビューしたり保存会の皆さんに聞いたりし、なかなか解決できなくても粘り強く調べている。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・地域の方の思いや願いを受け、自分たちはどのように踊るかを考え、自分の考えを伝えたり 友達の考えを受け入れたりしてより良い踊りを目指している。
	関制を関係	2 ☆協働する力	【☆協】	・運動会で自分たちの目指す踊りを披露するために、役割分担をし、下級生に踊りを教えたり 友達同士で教え合ったりしている。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・地域の方や友達の思いや願いを共感的に受け止め、共により良い踊りを目指している。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・これまでの取り組みを振り返り,目標や取り組み方を修正し,より良い発表を目指している。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・踊りを継承していく自分たちが主体者となり、さら踊りの完成度を高めるために意見を出し合っている。
	質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・これまでの取り組みを通して、自分や仲間と共に成し遂げた成果やこれからの課題を見出し、 今後の取り組みに生かしていこうとしている。
	L	11		

単元の指導 (全 〇 時間)

単元の	指導	ļ		(全 ○ 時間)				
プロセー	月	時	小単元な	主な活動内容と 関連する教科-領域		動かせ 資質		
ス見通しをもつ	2	1	名伝統		A	B 見 好	С	D
実施・改善	2	1	伝統	・自分達で考えた方法で調べる。	地		解	
振り返り	3	1	伝統	・ゲストテーチャーをお呼びし、調べたことが妥当かどうか確かめたりわからないことを尋ねたりする。・これまでの取り組みを振り返り、考えをまとめる。	地		受	肯
見通しをもつ	5	1	伝統	・練習の計画を知る。 ・踊りのめあてを考える。		見		
実施・改善	5	2	伝統	・地域の方に教えてもらいながら,踊りの練習をする。 ・下級生に役割を分担し,踊りを教える。			受協	
振り返り	5	1	伝統	・取り組みを振り返り、成果と課題を言語化して明らかにする。				肯

住田町立

世田米·有住 小学校 第 5 学年 地域創造学 単元計画

単元名

地域の生活と世界との比較を通して気が付くこと

単元の目標

○身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に関心を向け、多面的な捉えをしながらそれを自分自身とのかかわりで意味付けをしながら、自分で課題を見出そうとすることができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○考えを伝え合いながら、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとすることができる。 【人

間関係形成に関する資質能力】

の自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の 生き方につなげて考えようとすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規進

<u>;</u> 準	観点		評価規準			
Α (【地理】	・住田ならではの良さを、他の国の文化と比較しながら捉え、自己の生き方のかかわりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。			
В	1 ☆見通す力	【☆見】				
社 会 参	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	・課題を解決するために、共通点や差異点を基に比較したり、根拠をもって関係付けたり、条件付けたり、多面的に調べたりしながら、妥当性のあるよりよい考えを見出すことができる。			
画 に 関	3 ☆提案・発信する力	【☆提】				
資	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・周囲の「ひと・もの・こと」に自発的な関心を向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けを しながら、自分で取り組むべき課題を見出そうとしている。			
,	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】				
C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、互いの立場や意図を 明確にしながら伝え合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。			
す間 る関 資係	2 ☆協働するカ	【☆協】				
買形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。			
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】				
関自 する 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・目的や条件等を踏まえて、感じたことや考えたことをもとに自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり構想したりして、自発的に創意工夫して表すことができる。			
質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・日本語や英語の両言語を用いて活動することを通じて、自分のよさや持ち味を発揮しながら、その実現に向かって努力し、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。			
	B 社会参画に関する資質能力 C 人間関係形成に D 自律的活動に	B 社会参画に関する資質能力 2 ☆ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	A ②地域理解 1 ☆ 見] 1 ☆ 見] 2 ☆ 見] 3 ☆ 是素・発信する力			

単元の指導

(全 10 時間)

単元の	指導	Į.		(全 10 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		動かも 資質	能力	ı
見通しを持つ	7	2	異文化とのふれあい	異文化とのふれあい 〇前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 〇IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 〇第1時 メキシコの主な様子について学ぶ。 〇第2時 メキシコ・南カリフォルニア州料理 (タコスとタコスサラダ)の調理に取り組む (中学生海外派遣事業で訪問する地域の特徴的な料理)	地理	★ 好	C ★ 受	D
	10	3	世界各国の休日・	Cultural Holidays & Events From Around the World 世界各国の休日・祭り 〇世界の国の休日や祭りについて調べ、住田町の祭り等との比較をしながら調べて分かったことを発表する。 〇第1時 インターネットを使って世界の国の特別な休日・祭りを検索する。住田町の祭りとの違いについても考える。 〇第2時 選択した国の文化によるイベントや休日について、グループでプレゼンテーションに向けた準備をする。 〇第3時 最終準備と学級でのプレゼンテーション発表。		☆多★好	☆伝★受	
実施	12	2	世界の歌をたくさんの	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう 〇世界の歌を原語で歌ってみる。 〇町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★ 好		☆創★肯
課題設定・まとめ・	1	3	世界を感じよう	Let's Get a Sense of the World Around Us 世界を感じよう 〇中学生海外派遣事業の様子をビデオや写真等を用いて知る。 〇様々な国からの通貨について学ぶ。ドルを使って練習。チップの方法を学ぶ。 〇1年間の学習を通して学んだことをふり返り、表現する 〇児童個々に、今後の国際教育についての自身の課題を考える		☆多★好	★ 受	

世田米·有住 小学校 第 6 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

単元名 我が町 再発見

単元の目標

〇見学先で出会う人や物と触れ合ったり自分の町と比較したりする中で、自分の町のよさや課題について考えることができる。

【社会参画に関する資質能力】 〇共に思いを伝え合いながら学び合う中で、これまで以上に良好な人間関係を構築することができる。 ○共に思いを伝え合いなから学び合う中で、これまで以上に良好な人间関係を構築することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○学ぶ意義を理解し、事前の取り組みから振り返りまで、主体的に活動することができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

		観点		評価規準
	A ©	地域理解	【地理】	・仙台市を訪れ見学や体験を通して学んだことを生かして、町のよさや課題について住田町と 比較し、よさを発展させていこうとして取り組むことができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・仙台市と比べることにより、住田町のよさや課題について考える活動であるという見通しを持ち、計画を立てたり、修正したりすることができる。
	社会参	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	・市や町のよさを比較しながら見学したり、まとめたりすることができる。
	画に関する	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・学習を通して再発見した町のよさや課題、自分の思いなどを、発信することができる。
	、る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・仙台市や住田町により深く興味関心をもち、見学先で出会う人やものと積極的に触れ合うことができる。
	ž	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・主体的に計画を立て実践していく中で、困難な場面でも仲間と協力し最後までやり遂げることができる。
-	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・再発見した町のよさが伝わるような表現の工夫をしたり、伝え合うことで考えを広げたりすることができる。
	関人 す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	・自分の役割や責任を果たして市と町の比較をしたり、仲間と共に発表の準備を積極的に行ったりすることができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・市や町にはそれぞれのよさがあることを知ったり、いろいろな見方でまとめたものに共感した りすることができる。
-	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・活動をしていく上で計画を見直したり変更したりしてよりよい達成を目指すことができる。
	関自 する 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・再発見した町のよさについて、自分なりの感性や創造性を発揮しながら表現を工夫しようとすることができる。
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・活動を通して学んだことや成長したことを自覚し、今後の学習にいかそうとすることができる。

単元の指導 (全 18 時間)

単元の	指導	1		(全 18 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		資質	せたい 能力	
現状把握問題の理解		1	12	○今まで学んできた住田町の自然、産業、町の特色など、町の自慢やよさについて想起し、学習のゴールでは仙台市と比較しまとめたものを発信するというゴールを知る。	<u>A</u>	B 見	С	D
見通しを持つ	4 . 5	1		〇「事前学習」「修学旅行」「事後学習」などの見通しを持ち、学習計画を立てる。 【社会】武士の政治が始まる 【国語】ようこそ わたしたちの町へ 【道徳】郷土愛		見		
情報収集	6	2	再発見①	○修学旅行に行くために必要な役割分担や班の決定などの準備を行う。			協	
情報収集		6		〇見学場所の事前学習や旅のしおり作成など、見学の準備を行う。 【社会】 武士の政治が始まる 【国語】ようこそ わたしたちの町へ		解	多	
	6			(修学旅行 学校行事12)				
実施・改善		5	我が町	〇市や町を比較し学んだことをまとめ、発表の準備を行う。	地			創
親題への の	6 • 7	1	再発見②	○発表会を行い、住田町のよさや課題について気付いたことを述べ合う。 【道徳】 郷土愛		提		伝
振り返り		1		〇活動を振り返り、2学期の学習「考えよう わたしたちの町の未来」へつなげる。				肯

世田米·有住 小学校 第 6 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

単元名 考えよう 私たちの町の未来

単元の目標

- 住田のよさや課題に関心をもち、身近な人に発信することができる。 【社会参画に関する資質能力】○ 友達の思いや考えを受け止め、いろいろな見方や考え方について理解しようとする。【人間関係形成に関する資質能力】○ 住田町の特色、よさ、課題について気付き、今後のあり方について考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規	<u>;</u> 华	4日上		新 在 担 谁
		観点		評価規準
	A ◎地域理解			・住田町の歴史、文化、産業、先人などに関する住田ならではのよさや文化遺産を通して受け継がれているものを捉え、自己の生き方のかかわりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・自分が見出した課題に対して根拠のある予想や仮説をもちながら、解決方法を考えたり、自分の考えを絶えず見直し検討したりすることができる。
	社会参	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・課題を解決するために、共通点や差異点を基に比較したり、根拠をもって関係付けたり、条件付けたり、多面的に調べたりしながら、妥当性のあるよりよい考えを見出すことができる。
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・よりよい社会づくりに向けた取組について、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、取り組むことができる。
	る資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・周囲の「ひと・もの・こと」に自発的な関心を向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けしながら、自分で取り組むべき課題を見出そうとしている。
	5	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・: 困難な場面に直面しても、共通の目的に向かって仲間と共に粘り強く取り組み、失敗してもその経験を生かしながら最後までやり抜こうとする。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、互いの立場や意図を 明確にしながら伝え合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	関人すりの関係	2 ☆協働する力	【☆協】	・共通の目標に向かって、仲間や関わる人々の中で、自分の立場や果たすべき役割を果たしながら、様々な活動に積極的に活動することができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・課題の解決に向けた取組の進捗状況を振り返り、目的を捉え直したり自分の考えの妥当性を 検討したりして、自分にとってよりよい達成を目指すことができる。
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・目的や条件等を踏まえて、感じたことや考えたことをもとに自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり構想したりして、自発的に創意工夫して表すことができる。
	質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・目標をもち、自分のよさや持ち味を発揮しながら、その実現に向かって努力し、自分にとって 学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。
	1	l		

単元の指導 (全 21 時間)

単元の	怕領	4		(全 21 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		働か† 資質	能力	J
_ ^			P		Α	В	С	D
現状把握問題の理解		2	考えよ	〇これまでの地域創造学で学習したことについて振り返り、住田町のよさや課題について話し合う。 〇住I町の未来について考えたことを発表し合う学習であることを知り、学習課題を見出す。 【国語】「ようこそ、わたしたちのまちへ」	3	好多		
			う	〇住田町の未来について考えたことを発表し合う学習であることを知り、学習課題を見出す。				
課題設定	9	1	私たちの町の			見		
見通しを持つ		1	未	○学習計画を立てる。 語】「未来がよりよくあるために」 【道徳】 自然愛護		見		
情報収集	10	8	考えよう 私た	○グループ毎に知りたいことや疑問などを出し合う。 テーマに沿って調べ学習を行ったり、講師の先生方から話をうかがったりする。 田町の未来についての提案を聞き、質問やアドバイスするところを出し合う。 の未来についての提案がさらに伝わるように進んで交流する。 来がよりよくあるために」		堤	伝	創
振り返りまとめ	10	5		Oさらに調べ学習をすすめたり、改善点を修正したりして課題についてまとめる。 【道徳】郷土愛			伝	
情報収集	11	2	考えよう 私た	〇調べたことを発信するには、どのような方法がよいかを考える。 表の練習を行い、アドバイスをしたり、よりよい発表に向けて内容を修正したりする。			受	感
振り返りまとめ	11	2	ちの町の未来③	○講師の先生や地域の方々に自分たちの考えや思いをまとめたものを決めた方法で発表する。 ○これまでの学習を振り返り、今後の活動について考える。			伝	肯

世田米·有住 小学校 第 6 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

単元名 未来を見据えよう

単元の目標

○自分達を育ててくれた多くの方々に感謝の思いを持ち、今後の自分の社会との関わり方を考えることができる。

○ 日が建を育ててくれた多くの方々に診断の忘いを持ち、予後の目がの社会との関わり方を考えることができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○ 中学校生活を見据え、さらに良好な人間関係を構築していこうと考え、協力して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○ 「これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを伝える」という意義を理解し、主体的に活動することができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

計画死华	観点		評価規準				
Α (②地域理解	【地理】	・周りの人々の支えを再認識し、感謝の気持ちを伝えたり自分にできることを実践したりして、 卒業後の自分の生き方を見つめたり発展させていこうとしたりすることができる。				
В	1 ☆見通す力	【☆見】	・周囲の人々との関わりを振り返り、感謝の気持ちの伝え方を考えたり実際に伝えたりする活動について、見通しを持って計画を立てることができる。				
社会参	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・様々な視点からお世話になった人や事柄を振り返ったり、感謝の気持ちを伝えるという目標 を達成させるために仲間の意見を取り入れたりして取り組むことができる。				
画に関	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・感謝の気持ちを伝えるための発信の方法を考え、選択・決定し、取り組むことができる。				
する資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・周囲の人々との関わりに自発的に目を向け、支えられてきたことに感謝の気持ちを持つことができる。				
ਸੈ 	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・感謝の気持ちを伝えたり、様々な活動を成功させるために仲間と協力して最後までやり遂げようとすることができる。				
С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えや思いが伝わるような表現を工夫して伝え合おうとすることができる。				
関人 す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	・感謝の気持ちを伝えたり、6年生を送る会や卒業式を成功させるために仲間と協力して活動 に取り組むことができる。				
質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・様々な視点から多くの人々の支えがあったことに気付くことができる。				
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・感謝の気持ちを伝えようとする思いを持ち、計画した活動を振り返りながらよりよい活動にしていこうとして取り組むことができる。				
関自 す律 る的 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・感謝の思いがより伝わる方法や手段を自発的に考え、創意工夫して表現しようとすることができる。				
質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・支えられてきたことから自分と他者とのつながりを感じ、卒業後の生き方につなげていこうとすることができる。				

単元の指導 (全 17 時間)

<u>単元の</u>	指導	1		(全 17 時間)				
プロセ	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		働かt 資質	さたい 能力	\
ス			名		Α	В	С	D
現状把握問題の理解		1	未	〇これまでにだれにどんなことでお世話になったかを振り返る。		好		
課題への気付き		1	来を見据えよう	○だれにどのような形で感謝の気持ちを伝えるのかを考える。		多		
見通しを持つ	1 . 2	1	1	○卒業までの予定を確認し、学習計画を立てる。		見		
実施・改善	3	7	未来を見据	○計画に沿って、準備や練習を行う。 【道徳】 相互理解・寛容 あなたは家庭や地域の宝物 式の歌 業制作			協	
実施・改善		6	がえよう②	○6年生を送る会、清掃活動、製作活動、合唱等の準備や練習をしたり、発表をしたりする。 【家庭】あなたは家庭や地域の宝物 【音楽】2 業式の歌 【図工	<u> </u>		伝	創
振り返り		1	まとめ	○活動を振り返り、今後の自分達の生き方や社会との関わり方について考える。	地理	!		肯

住田町立

世田米·有住 小学校 第 6 学年 地域創造学 単元計画

単元名

What makes us happy about our town? 私たちの町を幸せにするものって何?

単元の目標

○身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に関心を向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けをしながら、自分で課題を見出そうとすることができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○考えを伝え合いながら、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとすることができる。 【人

間関係形成に関する資質能力】

の自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の 生き方につなげて考えようとすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規進

評価規		観点		評価規準
		地域理解	【地理】	・住田ならではの良さを、他の国の文化と比較しながら捉え、自己の生き方のかかわりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	
	社会参	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・よりよい社会に向け、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、発表に取り組むことができる。
	(する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・周囲の「ひと・もの・こと」に自発的な関心を向け、それを自分自身とのかかわりで意味付けを しながら、自分で取り組むべき課題を見出そうとしている。
	ъ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
	C 関人	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫したり、互いの立場や意図を 明確にしながら伝え合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	す間 る関 資係	2 ☆協働するカ	【☆協】	
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・目的や条件等を踏まえて、感じたことや考えたことをもとに自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり構想したりして、自発的に創意工夫して表すことができる。
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・日本語や英語の両言語を用いて活動することを通じて、自分のよさや持ち味を発揮しながら、その実現に向かって努力し、自分にとって学ぶことの意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。

単元の	指導	i.		(全 10 時間)				
プ ロ セ	月	時	小 単 元	主な活動内容と 関連する教科・領域		動か† 資質		
ス			名		Α	В	С	D
見通しを持つ	7	2	異文化とのふれあい	Mystery Cooking in English (英語で料理) 〇前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 〇IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 〇第1時 英語の料理の言い方に慣れ親しむ。 〇第2時 簡単な英語で書かれたミステリーディッシュのレシピで仲間と協働して調理することができる。	地理	★ 好	★ 受	
	10	4	世界の仲間と	伝え合おう世界の仲間とCommunication exchange with Canyon Crest Academy (キャニオン・クレスト・アカデミーとの国際コミュニケーション) のアメリカ カリフォルニア州サンディエゴのキャニオン・クレスト・アカデミー(H30年度中学生海外派遣での交流校)の生徒へ英語や日本語で手紙を書く。 ○児童は学校や町の様子を写真や絵、ビデオ等を通じて紹介する。		☆提★好	☆伝	
実施	12	2	人と共有しよう 世界の歌をたくさんの	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう 〇世界の歌を原語で歌ってみる。 〇町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★ 好		☆創★肯
課題設定まとめ・	1	3	住田町の好きなこと	What I like about Sumita. 住田町の好きなこと 児童が町のことについて幸せに思うこと、誇りに思うことについてグループで考え、短いプレゼンテーションを創作する。 O「住田町を特別な場所とするもの、こと」について話し合うために、グループに分かれ、学級でのプレゼンテーションの準備を始める。 Oグループでのブレゼンテーションを完成し、学級で発表する。		☆提★好	☆伝	

世田米 中学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名 住田にはどのような人がいるのだろうか…??

単元の目標

- プ目標
 ○調査活動を通して、住田町で活躍している人の願いや住田町を活性化させるための工夫について気づき、それらを模造紙等にまとめることができる。【社会参画に関する資質能力】
 ○調査活動を通して学んだことをクラスメイトに発表したりしている。【人間関係形成に関する資質能力】
 ○身近なところにも地域のために貢献している人がいることに気付き、調査活動で取り上げた以外の人物にも目を向けようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

新压±19 淮

評価規劃		観点		評価規準
	A	◎地域理解	【地理】	・小学校から学んできた「気仙川」「森林」といった住田の歴史、文化、資源の良さや地域の課題の他に、それに携わる地域の人の「活動」や「実践」を通してその人の思いを感じることができる。
		1 ☆見通す力	【☆見】	・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「地域で活躍している人から思いや考え、実践を学び、住田の魅力を再発見し、地域の人と一緒に未来を考える学習活動」であるという目的を確認する。1年の見通しを持つことが出来る。
	B 社会参画	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・調査活動を通して、「森林日本一」や「気仙川」といった生徒が抱く地域の良さの中で、実際に林業に従事する人や、様々な分野で住田のために従事、実践されている方の活動を知り、新たに地域の課題や良さに気づくことができる。
	に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	る資質能力	4 ★好奇心·探究心	【★好】	
	,,	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調査活動で調べた「実践」の内容を6W1Hで紙面にまとめたり、発表したりするなどして、クラスメイトに伝えようとしている。
	関する資品	2 ☆協働するカ	【☆協】	
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・調査活動を通して、「昔は住田の林業は〜ことが課題だったんだ、だから〜さんは〜をしたんだな」といった、住田のために実践をしてきた人の考えや実践を受け止めることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・調査活動を通して、「今後計画する学習活動は、自分だけではなく、自分達とは違う立場・世代の人と一緒に地域の未来を考えていく必要がある」といった気持ちが芽生えようとしている。 ・調査活動を通して、「住田町には資源を活かす人、地域のために様々活動している人が多い。自分には何が出来るだろうか」といった気持ちが芽生えようとしている。
	関する資料	2 ☆創出する力	【☆創】	
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導 (全 7 時間)

単元の	指導	<u> </u>		(全 7 時間)				
プロセー	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	動かも 資質	せたい 能力	١.
ス					Α	В	С	D
オリエンテー	4	1		地域創造学の目的を確認したり、一年間の見通しを持ったりする。		【☆ 見 】		
		2	地域	①小学校までの学びを振り返りながら、自分たちが考える住田の良い所を把握する。 ②住田テレビの番組(輝けすみた)の視聴や地域の人との関わりなどを通して、地域の人材やその人の思いを知				
調査活動	6	3	の現状を知	る。 ③視聴や地域の人との関わりなどを通して学んだことを、他のグループに伝え、学級で共有する。	地理】	【☆多】	【★ 受 】	【☆伝】
		1						

世田米 中学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名

○○さんのインタビューに向けた計画を立てよう!

単元の目標

○グループ毎の話し合い活動を通して、住田で活躍する人をインタビューするために必要な計画を立て、プラン発表会で提案することができる。【社会参画に関する資質能力】 ○プロジェクトメンバーとの話し合い活動を通して地域の方に伝わるように資料を作成したり、プロジェクトプラン発表会で地域の方からアドバイスを踏まえ計画の修正を図ろうとしたりしている。【人間関係形成に関する資質能力】 ○プロジェクトプラン発表会を通して、自身の携わる活動の良さと課題を知り、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

孪価 担 淮

評価規準	観点		評価規準
	序儿 /形		
A	◎地域理解	【地理】	来は~~だとよりよくなると思う」という住田の過去と現在、未来を結び付け、その過程で地域の人がどんな活動をしてきたか、どう活動していくのが良いかなどを考え、町のリソースや地域の人の実践をもっと知りたいという気持ちを持つことができる。 ・話し合い活動や中間発表を通して、情報を更に収集し、地域のリソースに対する知識をさらに深めることができる。
В	1 ☆見通す力	【☆見】	・話し合い活動を通して、「~~さんを調査することで、何を学び、何を考えることが出来るか」、「いつまでに、何をするか」、「役割分担をどうするか」といったプロジェクト実現までの見通しを具体化することができる。
社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	
画 に 関 す	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	
関する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・話し合い活動を通して、「この人は~~な実践をしていたけど、私は~~思うから~~人の考えをもっと知りたい。」といった思いや考えをまとめ、その中から、一年間をかけて取り組みたい。追跡したいプロジェクトを選択しようとしている。
ັ້ກ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動を通して、「この人は~~だから追跡プロジェクトは難しいと思う」「今まで学んできたすみたの森林のことを更に学習していけるのは~~さんだからこの人を追跡したい」といったアイデアを学級で提案しようとしている。
関人 す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	
質形能成力に	3 ★他者受容	【★受】	・話し合い活動を通して、「~~さんではないけど、同じ作業や仕事をしている方を知っている。 その人を追跡すると地域の未来を考えるきっかけとなるのでは?」といった視点を得ることが出来る。 ・プラン発表会での地域の方々からの助言を通して、自分たちでは気づかなかった視点を得ることが出来る。
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
関自 す律 る的 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・話し合い活動を通して、「普段見慣れている住田の木は、東京に無いため、住田の魅力になるのではないか…」といった、リソースを見つける視点を得ることができる。
質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・プラン発表会を通して、「次回から、実際に追跡プロジェクトに入れそうだ!」 地域の方々から「~~の考えが良い。」と認められたなどといった達成感を味わい、プロジェクト 実現に向けて意欲を高めている。
L		L	

単元の指導 (全 11 時間)

単元の	指導	1		(全 11 時間)				
プロセー	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域		動かせ 資質	せたし 能力	•
ス			名		Α	В	С	D
	5	1	プロジェクト	①地域の魅力を高めることができる・地域の課題を解決できる、リソースをいかしたプロジェクトの案を作成する。	- 地理	★ 好	【☆伝	[☆ ᡚ
試 行	6	2	チーム編成	②①の中から、自分達に実現可能なプロジェクトを選択する。	埋	好	垣 】	創】
及び計画の見直し	6	2	プロジ	①プロジェクトを実現させるまでの見通しをたてる。				
L	7	4	ェクトプラン	②プラン発表会。①でたてた見通しについて、他の生徒や外部の専門家から評価をいただく。	地理	【☆伝】	【★ 受 】	★肯】
	7	2	作 成	③評価を踏まえて、計画を再検討する。				

世田米 中学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名

住田で活躍する〇〇さんの願いや工夫についてインタビューしよう!

単元の目標

霕価钼準

評価規準	観点		評価規準
A	○地域理解	【地理】	・追跡プロジェクトを通して、「~さんは~思いで、~を取り組んでいた。僕の父さんも~って言っていたな。」「将来~になるためには~さんのような実践を~~していく必要があるな」といった実践した方々の思いや願いを学び、その周りの人々の反応、その分野に関する過去と今、未来はどうなっていくかなどを考えることができる。
В	1 ☆見通す力	【☆見】	
社会参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	
画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
る資質	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
) H	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・追跡プロジェクトを通して、「この人を追跡することでどんなことを学べるか」「誰に聞いてみればさらに詳しく分かるか」といった、活動実現に向けての行動を起こそうとしている。
C		【☆伝】	
関人する関係の	【 2 ☆協働する力	【☆協】	・クラスの発表会を通して、「~~のことはわかったけど、~~を知るには~~方法のほうが良いと思う」や「~~ことは初めて知った。もっと掘り下げて調べてみれば面白いと思う」といった意見の交流が出来る。
質形 能成 力に		【★受】	
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
関自 す	2 ☆創出する力	【☆創】	・追跡プロジェクトを通して、自分達が取り組んでいる活動が、「何のために」「誰のために」「何を」「これからどうなっていくのか」「自分たちができることは何か」「地域の方々はどう思っているのか」といった複数の観点から整理し、活動の実現までの過程をまとめている。
質動 能に 力	J	【★肯】	

単元の指導 (全 8 時間)

単元の	指導	į.		(全 8 時間)				
プ ロ セ	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	動かも 資質	またし 能力	\
ス					Α	В	С	D
実践活動	8 5 1 1	8	実践活動	プロジェクトの実現に向けて行動する。(プロジェクトの経過については,随時記録する。)	地理】	★ 解】	【☆協】	【☆創】

世田米 中学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名

プロジェクトに取り組んでみて…

単元の目標

霕価钼準

評価規準	観点		評価規準
	A. ◎地域理解	【地理】	・「まとめ」「振り返り」を通して、①「住田の森林は、資源の循環を意識し生産されている。その素材を活用した食器を作ったので、町内外の皆さんに使って欲しい」といった成果や、②「活動を通して、住田の森林の良さに改めて気が付くことができた。大人になった時に、町外の人にもその良さを伝えていきたい」といった思い・願いを表現することができる。
В	1 ☆見通す力	【☆見】	
社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	
画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・報告会や「まとめレポート」の作成を通して、「住田の森林資源をいかした食器を作り、町内外の人に使い心地を聞くことができた」といった成果や、「よりたくさんの人に利用してもらう機会を作りたい」といった課題を報告することができる。
る資質	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
) h		【★解】	
関) 1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動や報告会などを通して、話し手が「私たちは住田の森林資源を活かした食器を作った」といった成果を発信したり、聞き手が「産業祭りなどに提供すれば、もっとたくさんの人に広まったのでは?」と質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行うことができる。
日本 日	引 2 ☆協働する力	【☆協】	
	₹	【★受】	
ı	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
関目する	‡ 2 ☆創出する力	【☆創】	
能力	t T	【★肯】	・報告会や振り返りを通して、「苦労をしながらも活動をやり遂げることができた」「地域の方から、がんばりを認めてもらった」といった気持ちを味わい、次年度に向けての意欲を高めようとしている。

単元の指導 (全 10 時間)

<u>単元の</u>	相华	<u> </u>		(全 10 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		働か1	能力	
まとめ	1 2	2	調査研究報告会に向けて	報告会に向けて準備をする。	A	B		Δ
と振り返り	1 2	4	報告会	報告会でプロジェクトの成果と課題について報告し、他の生徒や外部の専門家から評価をいただく。		【☆提】	【☆伝】	【★肯】
	1 2	4	振り返り	報告会での評価を踏まえて、レポートを仕上げる。				

世田米·有住 中学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画 住田町立

単元名

インターナショナルプロジェクト ~対話を通して考える国際社会住田~

単元の目標

- プロ保存 地域に多くの外国人が住んでいることを知り、国籍が異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことの大切さについて考えることができる。 【社会参画に関する資質能力】 町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 国際社会ではいて大切なことを感じ取り、自分の考えをよりよい形で伝えるために、創意工夫して表すことができる。 【自律的活動に関する 2.788年会 1
- る資質能力】

評価規準

华	観点		評価規準
Α		【地理】	・住田町に暮らす外国の方たちとの交流を通じて町の国際化の状況について知り、自分の生き方との関わりで考え続け、更に発展させていこうと取り組むことができる。
В	1 ☆見通す力	【☆見】	
社 会 参	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	・活動を通じて感じた共通点や差異を基に現在の住田町の状況を捉え、多角的な視点を持って、より妥当な考えを見出すことができる。
画 に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・よりよい社会づくりに向けた取組について、相手に応じた表現や提案の仕方、発信方法を選択・決定し、取り組むことができる。
資 質	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
ъ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	
貝形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・外国の方々の思いや願い、考えを共感的に受け止め、いろいろな見方や考え方があることを 理解し、広い心で異なる意見や立場を尊重しようとしている。
D	1 ☆感じ取るカ	【☆感】	・他の人の考え等を聞きながら、自分自身の考えを深め、よりよい国際社会についての意見を 持つことができる。
関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことを自分の感性を発揮しながら、自発的に創意工夫して表すことができる。
質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学んだことの自分にとっての意味や価値を見出し、自分の生き方につなげて考えようとする。
	A B 社会参画に関する資質能力 B 社会参画に関する資質能力 C 人間関係形成に D 自律的活動に	観点 A B 社会参画に関する資質能力 B 社会参画に関する資質能力 C 人間関係形成に D 自律的活動に は	観点 A ②地域理解 「 本見】

単元の指導

(全 7 時間)

単元の	指導	Ϊ		(全 7 時間)				
プロセス	月	曲	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		動かけ 資質 B		
現状把握・	7	1	現状を知る地域に住む外国人の	○岩手県や住田町で生活している外国人の状況を知る。 ○単元を通して考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。 ○どこの国の人から話を聞きたいか希望調査する。 ○質問の内容を考える	地理 ————————————————————————————————————	☆多		
情報収集	8	2	交流する外国の方と	○地域に住む外国の方との交流会をもつ。○全体会→分科会→全体会 の流れで行う。○外国の方には、生徒の質問に答える形式で、自分のことや、出身国のことについてお話していただく。【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★ 受	☆感
見通しを持つ計画する・	9	1	多文化	○交流して感じたこと、気づいたことを元に「外国人にもやさしいまちづくり」について、グループで話し合う。 ○ビデオメッセージの撮影に向けて「どんなことを伝えたいか」というアイディアを持ちながら話し合う。 【伝統と文化の尊重,国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★ 受	☆感
実施	9	1	生ができることをお共生社会の実現にな	○前時の活動で出たアイディアを2つの中学校で交流し、自分たちの意見との違いや他の人の考えの良い点などを知る。 ○ビデオメッセージの撮影に向けてアイディアをまとめ、撮影する。(グループごと) ○多文化共生社会において大切なことや必要なことを考え、レポートにまとめる。 【伝統と文化の尊重,国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆創
振まとめ・	10	1	考える、	○お話を訊いたゲストティーチャーの方に向けて、ビデオメッセージを撮影する。(グループごと) ○撮影したメッセージは、ゲストティーチャーの所属会社等を通じて本人に届ける。 ○多文化共生社会において大切なことや必要なことを考え、レポートにまとめる。 【伝統と文化の尊重,国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆創★肯

単元名 住田の魅力とは…

単元の目標

〇調査活動を通して、他の町には無い(少ない)住田町の持つリソースに気づき、模造紙等に整理することができる。【社会参画に関する

○調査活動を通じて、他の前には無い(少ない)住田町の持つリソースに気 フさ、模垣減等に整理することができる。【社会参画に関する 資質能力】 ○住田町の持つリソースを知るために町民にインタビューをしたり、気がついたことをクラスメイトに発表したりすることができる。【人間関 係形成に関する資質能力】 ○インタビュー等を通して、世代や職種などの違うことで住田町の持つリソースの捉え方が違うことに気づき、その気づきをプロジェクトの 立案に活かそうとしている。【自律的活動に関する資質能力】

55 Jac +0 345

評価規準		※資質能力	の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。
	観点		評価規準
A @)地域理解	【地理】	・調査活動を通して、生徒の思う「遊び場が少ない」「観光地が少ない」といった課題の他に、地域の人が思う「林業に従事する人が年々減少している」「外国語が見当たらず、病院を探すことに苦労している」といった課題を知ることができる。 ・調査活動を通して、「他の地域よりも森林資源が多い」「他の地域よりも、外国出身の方が生活に根付いている」といった地域のリソースを具体化することができる。
	1 ☆見通す力	【☆見】	・オリエンテーションを通して、今年度の活動が「住田の〇〇をいかして、住田の魅力を高めるためのプロジェクトを考えよう」であるという目的を確認し、7月にプラン発表会、11月に報告会、12月にまとめがあることに気づく。
B 社会参画	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	・調査活動を通して、「遊び場が少ない」「観光地が少ない」といった生徒が抱く課題の他に、「林業に従事する人が年々減少している」「外国語が見当たらず、病院を探すことに苦労している」といった、自分達と異なる世代・立場の人の課題もあることに気づくことができる。・地域のリソースを具体化する活動を通して、「都市に無くて住田にあることが、住田の魅力だ」「都市にあって住田に無いものが、住田の課題だ」といったように、住田にある(無い)ヒト・モノ・出来事を捉えることができる。
に 関 す る	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	
資 質 能 力	4 ★好奇心·探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調査活動で調べた「他の地域よりも森林資源が多い」「他の地域よりも、外国出身の方が生活に根付いている」といった内容を紙面にまとめたり、発表したりするなどして、クラスメイトに伝えようとしている。
関人する資料の	2 ☆協働する力	【☆協】	
質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・調査活動を通して、「住田で林業に携わっている人は、跡継ぎがいなくて困っているんだ…」 「住田で暮らす外国の方は、病院を探すことに苦労しているんだ…」といった、自分達と異なる 世代・立場の人の考えを受け止めることができる。
D 関自	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・調査活動を通して、「今後計画するプロジェクトは、自分達のことだけではなく、自分達とは違う立場・世代の人もハッピーになるプロジェクトを考える必要がある」といった気持ちが芽生えようとしている。 ・調査活動を通して、「住田町にあるヒト・モノ・出来事は、住田の魅力を高めるために、活かすことができるものだ!」といった気持ちが芽生えようとしている。
する 資動	2 ☆創出するカ	【☆創】	
能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導 (全 10 時間)

単元の	指導	1		(全 10 時間)							
プロセ	月	曲	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	動かも 資質	tたい 能力	١.			
ス			名		Α	В	С	D			
オリエンテー	4	1		地域創造学の目的を確認したり、一年間の見通しを持ったりする。		【☆ 見 】					
				①自分達や地域の人が抱える課題について調べる。							
	4	4	地域の現状を	②調べた結果を、学級・学校で共有する。	[地理]	[☆多	【★受】	【☆伝】			
調査					1	知る]		
活				①他地域との相違点をみつける。							
動	5	2	地域のリソ-		【地理	【☆多	【☆感	【☆感			
			ス	②見つけた結果を、学級・学校で共有する。	理	多	感】	感』			
		2	を知る								

単元名

住田の○○をいかした住田の魅力を発信するプロジェクトを計画しよう!

単元の目標

〇グループ毎に住田町のリソースを活かしたプロジェクトを考え、その実現に向けた計画をプラン発表会で提案することができる。【社会参 画に関する資質能力】

回に関する員員能力】 〇プロジェクトメンバーとの話し合い活動を通して地域の方に伝わるように資料を作成したり、プロジェクトプラン発表会で地域の方からアドバイスを踏まえ計画の修正を図ろうとしたりしている。【人間関係形成に関する資質能力】 〇プロジェクトプラン発表会を通して、自身の携わるプロジェクトの良さと課題を知り、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。【自律的活動に関する資質能力】

孪価 担 淮

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

準		**************************************	の又例は、「森林・林業を沽かすフロシェクト」と「任田町在中の外国の万の生沽に注目したフロシェクト」の視点で記述している。
	観点		評価規準
Α	◎地域理解	【地理】	・話し合い活動を通して、「魅力を発信するために、森林資源をいかした食器がつくれそうだ」「課題を解決するために、外国の方から言語を学び、表紙作りにいかせそうだ」といったリソースを、町の魅力を高めるために活用できることに気づくことができる。 ・話し合い活動や中間発表会を通して、「〇〇の〇〇さんが、木材について詳しいようだ」といった情報を収集し、地域のリソースに対する知識をさらに深めることができる。
В	1 ☆見通す力	【☆見】	・話し合い活動を通して、「目的は何か」「目的実現のために、いつまでに、何をするか」、「役割分担をどうするか」といった、プロジェクト実現までの見通しを具体化することができる。
社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	
に 関 す	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	
る資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・話し合い活動を通して、「魅力を発信するために、森林資源をいかした食器がつくれそうだ」 「課題を解決するために、外国の方から言語を学び、表紙作りにいかせそうだ」といったアイ ディアを提案し、その中から、一年間をかけて取り組みたいプロジェクトを選択しようとしてい る。
カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動を通して、「森林資源を活かして食器を創れば住田の魅力が高まるのでは…?」「看板を複数の言語にすれば、外国の方も安心して暮らせるようになり、住田の魅力が高まるのでは…?」といった、リソースをいかしたアイディアを、学級で提案しようとしている。
す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	
買形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・プラン発表会での外部の専門家からの助言を通して、自分達では気づかなかった活動の魅力や、活動の改善点について気づき、「この点はよかったから、さらに続けよう」「この点は指摘されたから、改善しよう」といったように、助言を今後の活動にいかそうとしている。
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
関自 する 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・話し合い活動を通して、「普段見慣れている住田の木は、東京に無いため、住田の魅力になるのではないか…」といった、リソースを見つける視点を得ることができる。
質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・プラン報告会を通して、「次回から、実際にプロジェクトに取り組めそうだ!」「『誰のために』と『何のために』の考えが、専門家に認められた!」などといった達成感を味わい、プロジェクト実現に向けての意欲を高めようとしている。
	B 社会参画に関する資質能力 ロ 人間関係形成に D 自律的活動に	B 社会参画に関する資質能力 2 ☆ ☆ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★	A ②地域理解

単元の指導 (全 12 時間)

単元の	指導	1		(全 12 時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	働か 資質	せたい ・能力	`
ス			名		Α	В	С	D
	5	2	プロジェクト	①地域の魅力を高めることができる・地域の課題を解決できる、リソースをいかしたプロジェクトの案を作成する。	地	★好	⟨☆伝	[☆ ፯
試 行	6	1	チーム編成	②①の中から、自分達に実現可能なプロジェクトを選択する。	理】	对	伍	創】
1及び計画の見直	6	3	プロジ	①プロジェクトを実現させるまでの見通しをたてる。				
L	7	4	ェクトプラン	②プラン発表会。①でたてた見通しについて、他の生徒や外部の専門家から評価をいただく。	【地理】	【☆見】	★ 受 】	【★肯】
	7	2	作 成	③評価を踏まえて、計画を再検討する。				

世田米 中学校 第 2·3 学年 地域創造学 単元計画

単元名

プロジェクト実現に向けて行動しよう!

単元の目標

- ○取り組んでいる作業を目的と照らし合わせたり、作業が上手くいかない場合はその原因を追究したりするなどして、プロジェクト実現に向けての行動を起こそうとしている。【社会参画に関する資質能力】 ○プロジェクト実現に向けて役割を分担し、それぞれの役割を果そうと行動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】 ○話し合い活動を通して、自分達が取り組みたい活動を、目的・対象・費用といった観点から整理し、取り組みの経過をまとめている。【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

	#B -		2.7. Fer +12 24b
	観点		評価規準
Α	◎地域理解	【地理】	・作業を通して、「住田の森林は、林業に携わる人が願いを持って育てている」「住田で暮らす 外国の方は、SNSに住田の素敵なスポットを投稿し魅力を発信している」といった、携わる人た ちの思い・願いや日常生活に気づくことができる。
В	1 ☆見通す力	【☆見】	
社 会 参	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	
画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
関する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	
) D	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・作業を通して、「〇〇のために、という目的に向かっているか」「上手くいかない原因はどこにあるのか」「誰に聞いてみれば分かるか」といった、活動実現に向けての行動を起こそうとしている。
С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	
関人 す 間 関 資 係 質 形	2 ☆協働するカ	【☆協】	・作業中に「私は食器の使い心地をインタビューしてくる」「僕は作った食器を宣伝するためにポスターを作ってみる」といったように、プロジェクト実現に向けて役割分担をして活動することができる。
能成力に	3 ★他者受容	【★受】	
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・話し合い活動を通して、自分達が取り組みたい活動を、「何のために」「誰のために」「何を」「いつまでに」「どこで」「どれくらいの費用で」といった観点から整理し、活動の実現までの過程をまとめている。
質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導 (全 20 時間)

単元の	指導	ţ.		(全 20 時間)				
プロセ	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	動かt 資質	せたい 能力	\
ス				プロジェクトの実現に向けて行動する。(プロジェクトの経過については、随時記録する。)	Α	В	С	D
実践活動	8 1 1	2 0	実践活動	プロプエジドの夫がに同けて11到する。(プロプエグドの社題に プル・Cla、pairfi 記録する。)	地理】	★解】	【☆協】	【☆創】

世田米 中学校 第 2·3 学年 地域創造学 単元計画

単元名

プロジェクトに取り組んでみて…

単元の目標

- ○報告会や「まとめレポート」の作成を通して、今年度の取り組みの成果や課題を報告する。【社会参画に関する資質能力】 ○話し合い活動や報告会などを通して、話し手が成果を発信したり、聞き手が質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑 応答を行う。【人間関係形成に関する資質能力】 ○報告会や振り返りを通して、達成感を味わったり、次年度に向けての意欲を高めようとしたりしている。【自律的活動に関する資質能力】

評価 担 淮

※資質能力の文例は、「森林・林業を活かすプロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生活に注目したプロジェクト」の視点で記述している。

評価規準	A L	※貧質能力	の文例は、「森林・林業を沽かすフロジェクト」と「住田町在中の外国の方の生沽に注目したフロジェクト」の視点で記述している。
	観点	,	評価規準
A	◎地域理解	【地理】	・「まとめ」「振り返り」を通して、①「住田の森林は、資源の循環を意識し生産されている。その素材を活用した食器を作ったので、町内外の皆さんに使って欲しい」といった成果や、②「活動を通して、住田の森林の良さに改めて気が付くことができた。大人になった時に、町外の人にもその良さを伝えていきたい」といった思い・願いを表現することができる。
В	1 ☆見通す力	【☆見】	
社 会 参	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	
画に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・報告会や「まとめレポート」の作成を通して、「住田の森林資源をいかした食器を作り、町内外の人に使い心地を聞くことができた」といった成果や、「よりたくさんの人に利用してもらう機会を作りたい」といった課題を報告することができる。
関する資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
ا ا	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
C 関人	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・話し合い活動や報告会などを通して、話し手が「私たちは住田の森林資源を活かした食器を作った」といった成果を発信したり、聞き手が「産業祭りなどに提供すれば、もっとたくさんの人に広まったのでは?」と質問したりするなど、活動を高めることができる発表・質疑応答を行うことができる。
す間 る関 資係	2 ☆協働する力	【☆協】	
質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	
D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	
質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・報告会や振り返りを通して、「苦労をしながらも活動をやり遂げることができた」「地域の方から、がんばりを認めてもらった」といった気持ちを味わい、次年度に向けての意欲を高めようとしている。
	•		

単元の指導 (全 10 時間)

<u>単元の</u>	相华	<u> </u>		(全 10 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		働か1	能力	
まとめ	1 2	2	調査研究報告会に向けて	報告会に向けて準備をする。	A	B		Δ
と振り返り	1 2	4	報告会	報告会でプロジェクトの成果と課題について報告し、他の生徒や外部の専門家から評価をいただく。		【☆提】	【☆伝】	【★肯】
	1 2	4	振り返り	報告会での評価を踏まえて、レポートを仕上げる。				

住田町立 単元名 世田米·有住 中学校 第 2·3 学年 地域創造学 単元計画

インターナショナルプロジェクト ~ 交流を通して考える国際社会住田~

単元の目標

- 日保 地域に暮らす外国人の方との交流を通じて、国籍が異なる人々が、文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に持続可能な社会を形成し生きていくために、自分たちのできることを考えることができる。【社会参画に関する資質能力】 よりよい国際社会実現のために、相互理解を深めながら集団での活動をすることができる。【人間関係形成に関する資質能力】 よりよい国際社会について必要なことを見極めながら、交流会の企画に発想を生かしたり、自身の可能性に気付いたりして生き方について考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価 担進

評価規準		観点		評価規準
	A ©	地域理解	【地理】	・外国との関係を深める住田町の現状を踏まえ、住田固有のよさを継承したり、現在住田町が 抱えている課題について、よりよい解決を目指したりするなど、積極的に地域の一員として生き る自分を自覚しながら取り組むことができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	
	社会参	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・収集した情報や考えなどを関係性について分析して解釈し、交流会の企画・実施を通じてより 妥当な考えとして具現化することができる。
	画 に 関 す	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・持続可能な社会づくりの視点から、これからの住田町にとって望ましい交流の在り方について 交流会の企画を通じて具体的に提案することができる。
	る 資 質 能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	
	カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	
	C	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の考えが伝わるように、場の状況を判断しながら言葉を選ぶなどの適切な働きかけを 行ったり、様々な立場や考え方を尊重しながら他者の考えを受け止めて相互理解を深めること ができる。
	関する資質	2 ☆協働するカ	【☆協】	・集団での活動において、活動する意義や目標を捉え、互いに協力し、その中での自分の役割 や責任を自覚し集団の一員として活動することができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・外国の方々の様々な個性や立場を尊重し、広い視野に立ってよりよい国際社会を求めようと する。
	D	1 ☆感じ取るカ	【☆感】	・活動を通じて自分自身の考えを深め、よりよい国際社会について本質的に必要なことを見極めながら、自己の在り方について考えることができる。
	関自 す律 る 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、交流会を企画するために発想を生かして創造的に表すことができる。
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学習から得た達成感や自信から、自分の良さや可能性に気付き、自分の生き方を考えていこうとする。

単元の指導

(全 7 時間)

単元の	指導	<u> </u>		(全 7 時間)				
プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域		働か† 資質	能力	!
現状把握・	7	1	自覚化する	地域における国際化の状況について自身の考えを自覚化する 〇1年時や前学年のインターナショナルプロジェクトの振り返りをもとに、現在の自分の考えを持つ。 〇単元を見通し、考えていくことや、まとめ振り返り段階で取り組む活動の内容について理解する。 〇次時の情報収集段階に向けて、質問の内容を考える。	地理	B ☆ 多	С	D ★肯
情報収集	8	1	認識する 現状について	地域における国際化の現状について認識する 〇町内の、外国とのつながりの強い企業から講師を招き、国際企業の現状を学ぶ。 〇質疑応答により、町で働く外国人のことについてより詳しく知る。 〇地域に住む外国の方との交流会の内容について立案する見通しをもつ。 【伝統と文化の尊重,国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆多	★ 受	
見通しを持つ	9	3	多文化共	前時を基に交流会の内容を企画する (2学期 1単位時間 H31年度ベトナムの方を招いて 2・3年生それぞれに) 〇グループで話し合う。 ○各グループの考えを交流する。 ○学年としての企画に練り上げる。 ○必要なことを準備する。 【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】・【相互理解】		☆提	☆協	☆創
実施	9	1	ができることを生社会の実現に	○前時までに企画した内容で交流会を実施し、自分たちの意見との違いや他の人の考えの良い点などを知る。 ○交流したゲストティーチャーの方に向けてビデオメッセージを撮影するために必要なことを考える。 ○単元を通じて感じたことを「多文化共生社会において大切なことや必要なこと」としてまとめる準備をする。(授業当日・自宅) 【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】・【相互理解】			☆伝	☆感☆創
振まとめ・	10	1	考える、	 ○交流したゲストティーチャーの方に向けて、ビデオメッセージを撮影する。 ○撮影したメッセージは、ゲストティーチャーの所属会社等を通じて本人に届ける。 (互いの中学校でも交流、住田テレビでの放送あり) ○単元を通じて感じたことを「多文化共生社会において大切なことや必要なこと」としてまとめる。(振り返りは次年度にのこす) 【伝統と文化の尊重,国や郷土を愛する態度】・【相互理解】 			☆伝	☆感☆創★肯

岩手県立 住田 高等学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名 地域を知る

単元の目標

- ○住田町の資源や魅力について理解を深め、ガイドブックの形で表現することができる。【社会参画に関する資質能力】○町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】○学んだことをよりよい形で伝えるために、工夫改善することができる。【自律的活動に関する資質能力】

新工<u>工</u>工 独

評価規		観点		評価規準
	A	◎地域理解	【地理】	・住田町の歴史や文化、資源や魅力について知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	社会参画	2 ☆多角的・多面的 に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。
	関する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。
	5	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	関ける資源	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	関自 する 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・学んだことについて構想を練り上げて、創造的に表現することができる。
	質動能に力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の指導 (全 20 時間)

単元の)指導	ļ		(全 20 時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域		働か 資質	せたし ・能力	\
<i>x</i>		1	名	○中学校で行ってきた探究的な活動を振りかえり、「地域創造学」で目指すものを確認する。○住田町のガイドブック作成を通して、地域理解を深めることを目指す活動であることを理解する。	地理	В	С	D 肯
問題の理解・現状	4	1		○自分の興味関心のあることやこれまでやってきたことを振り返る。 ○他の人とシェアする。			伝	
担 握		1		○20年後の住田町(気仙地域)を予想する。 ○こうなっていたらいいな、を考える。			伝	感
課題設定	5	3		○探究テーマを決める。○テーマごとにグループを作る。		好		
情 報計 収画 集	6	5		○探究のための調査内容と調査方法を考える。 ○調査活動の計画を立てる。		見好解	協	
実施・改善		6		○調査活動を行い、わかったことをまとめる。 ○見た人に伝わるようなレイアウトや文を考える。		多提好解	協受	創
まとめ・	7 \$ 9	2		○まとめたこと(ガイドブック第一案)を発表する。 ○他の人の発表を聞いて、アドバイスをする。			伝受	
振 り 返り		1		○他の人からのアドバイスなどをもとに、さらによいものにするにはどうしたらよいかを考える。	\\			感肯

岩手県立 住田 高等学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名 地域を知らせる

単元の目標

- ○住田町の資源や魅力について理解を深め、ガイドブックの形で表現し、効果的な伝達方法を考えることができる。 【社会参画に関する 資質能力】 ○町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○学んだことをよりよい形で伝えるために、工夫改善することができる。 【自律的活動に関する資質能力】

霕価钼準

評価規準		48 .E		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □				
	•	観点		評価規準				
	A ◎地域理解			・住田町の歴史や文化、資源や魅力について知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。				
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。				
	社会参	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。				
	画	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。・ガイドブックの活用方法について提案することができる。				
	る 答	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。				
	カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。				
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。				
	資係	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。				
1	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。				
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。				
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・学んだことについて構想を練り上げて、創造的に表現することができる。				
	質動能に	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。				
11				I				

単元の指導 (全 15 時間)

単元の	指導	į		(全 15 時間)				
プ ロ セ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	動かも 資質	さたい ・能力	\
ス 情 報計 収 集		4	名	○ガイドブックの内容をより完成形に近づけるために、調査内容と調査方法を再検討する。○調査活動の計画を立てる。○ガイドブックを設置する場所を検討する。	A 地理—	B 見 好解	協協	D
実施・改善	1 0	8		〇調査活動を行い、わかったことをまとめる。 〇レイアウトや文を工夫する。 〇ガイドブックを置いてくれるよう該当施設等にお願いする。		多提好解	協受	創
まとめ・	\$ 2	2		○ガイドブックにまとめた内容について発表する。○他の人の発表を聞いて、意見や感想を述べる。			伝受	
振り返り		1		〇一年間の地域創造学を振り返り、来年度の探究の見通しを持つ。				感肯

岩手県立 住田 高等学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

単元名 地域を見つめる

単元の目標

- ○住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を考えることができる。【社会参画に関する資質能力】○町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】○町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

新工<u>工</u>工 独

評価規		観点		評価規準
	A	◎地域理解	【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	社会参画	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。
	関する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。
	5	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	関ける資源	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	関自 する 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	質動能力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の指導 (全 20 時間)

単元の	指導	1		(全 20 時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域	,	働か 資質	せたい 能力	\
X			名	○昨年度の活動を振りかえり、今年度「地域創造学」で目指すものを確認する。○住田町の課題解決につながるマイプロジェクトを実施することを知る。	Α	В	С	D
問題		1		CEM-100 MARZIANIC VON VIIV - V - V - V - V - V - V - V - V -	地理——			肯
の理解・現状	4	1		○自分の興味関心のあることやこれまでやってきたことを振り返る。○他の人とシェアする。			伝	
担 握		1		○20年後の住田町を予想する。 ○こうなっていたらいいな、を考える。			伝	感
課題設定	5	3		○自分の興味関心と住田町を結びつけるものを考える。 ○探究テーマを決める。 ○住田町の現状について予測を立てる。		好		
情 報計 収画 集	6	5		〇住田町の現状を知るための調査内容と調査方法を考える。 〇調査活動の計画を立てる。		見好解	協	
実施・改善		6		○調査活動を行い、わかったことをまとめる。 ○調査結果から住田町の抱える課題を捉え、その課題を解決するにはどうしたらよいか活動計画を立てる。		多提好解	協受	創
まとめ・	7 \$ 9	2		○調査結果(現状・課題・活動計画)を発表する。 ○他の人の発表を聞いて、アドバイスをする。			伝受	
振り返り		1		○他の人からのアドバイスなどをもとに、活動計画を見直す。				感肯

岩手県立 住田 高等学校 第 2 学年 地域創造学 単元計画

単元名 地域への貢献を考える

単元の目標

- ○住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を起こすことができる。【社会参画に関する資質能力】○町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】○町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

新工<u>工</u>工 独

評価規	•	観点		評価規準
	A	◎地域理解	【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	社会参画	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	に	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・課題の解決策を具体的に考え、よりよい発信方法を工夫することができる。
	関する資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・課題の解決策について積極的に意見を出し、主体的に活動を起こすことができる。
	, 为	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	関する資源	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	関自 する 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	質別 質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の指導 (全 15 時間)

単元の	指導	1		(全 15 時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域		動か 資質	せたい ・能力	
ス			名		Α	В	С	D
情 報計 収画 集		4		○見直した活動計画をもとに、地域の課題を解決するための具体的な計画を立てる。	地 理 ——	見好解	協	
実施・改善	1 0	8		○課題解決のための行動を起こす。○課題解決につながったのか検証する。○自分の探究についてまとめる。		多提好解	協受	創
まとめ・	\$ 2	2		○マイプロジェクトについて発表する。○他の人の発表を聞いて、意見や感想を述べる。			伝受	
振り返り		1		〇一年間の地域創造学を振り返り、来年度の探究の見通しを持つ。				感
Ŋ		'						肯

岩手県立 住田 高等学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画

単元名 地域を見つめる

単元の目標

- ○住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を考えることができる。【社会参画に関する資質能力】○町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】○町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

表 /平土B 後

評価規		観点		評価規準
	A	◎地域理解	【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	社会参画	2 ☆多角的·多面的 に考える力	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	に	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・見た人に伝わるように、レイアウトや文章を工夫することができる。
	関する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・調査内容や方法について積極的に意見を出し、主体的に調査活動を行うことができる。
	5	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	関ける資源	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	関自 する 資活	2 ☆創出するカ	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	質動能力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の指導 (全 20 時間)

単元の	指導	1		(全 20 時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域	,	働か 資質	せたい 能力	\
X			名	○昨年度の活動を振りかえり、今年度「地域創造学」で目指すものを確認する。○住田町の課題解決につながるマイプロジェクトを実施することを知る。	Α	В	С	D
問題		1		CEM-100 MARZIANIC VON VIIV - V - V - V - V - V - V - V - V -	地理——			肯
の理解・現状	4	1		○自分の興味関心のあることやこれまでやってきたことを振り返る。○他の人とシェアする。			伝	
担 握		1		○20年後の住田町を予想する。 ○こうなっていたらいいな、を考える。			伝	感
課題設定	5	3		○自分の興味関心と住田町を結びつけるものを考える。 ○探究テーマを決める。 ○住田町の現状について予測を立てる。		好		
情 報計 収画 集	6	5		〇住田町の現状を知るための調査内容と調査方法を考える。 〇調査活動の計画を立てる。		見好解	協	
実施・改善		6		○調査活動を行い、わかったことをまとめる。 ○調査結果から住田町の抱える課題を捉え、その課題を解決するにはどうしたらよいか活動計画を立てる。		多提好解	協受	創
まとめ・	7 \$ 9	2		○調査結果(現状・課題・活動計画)を発表する。 ○他の人の発表を聞いて、アドバイスをする。			伝受	
振り返り		1		○他の人からのアドバイスなどをもとに、活動計画を見直す。				感肯

岩手県立 住田 高等学校 第 3 学年 地域創造学 単元計画

単元名 地域への貢献を考える

単元の目標

- ○住田町の現状と課題を知り、課題解決のための行動を起こすことができる。【社会参画に関する資質能力】○町の人との対話を通じて、様々な考え方に気づき、他者と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】○町の課題を自分ごととして考え、その解決の方法を主体的に構想することができる。【自律的活動に関する資質能力】

表 /平土B 後

評価規	•	観点		評価規準
	A	◎地域理解	【地理】	・住田町の現状と課題を知り、自分の関心に沿ってさらに理解を深めることができる。
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・目標に向けて情報収集を行い、見通しを持って計画的に活動することができる。
	社会参画	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	・調べた情報や考えなどを分析して解釈し、より妥当な考えを取捨選択することができる。
	に	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・課題の解決策を具体的に考え、よりよい発信方法を工夫することができる。
	関する資質能	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・課題の解決策について積極的に意見を出し、主体的に活動を起こすことができる。
	, 为	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・活動が行き詰ったとき、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べたことや自分の考えが伝わるように、表現を工夫することができる。
	関する資源	2 ☆協働する力	【☆協】	・集団の中での自分の役割を自覚し、互いに協力して活動することができる。
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・多様な他者の考えや価値観を受け入れ、広い視野でよりよいものを考えることができる。
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学んだことを自分ごとに引き付けて考え、これからの自己の学びや活動への見通しを持つことができる。
	関自 する 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・課題解決の方法を主体的・創造的に考えることができる。
	質別 質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分の良さや可能性に気づき、よりよいものを目指して取り組もうとすることができる。

単元の指導 (全 15 時間)

単元の	指導	Į		(全 15 時間)				
プロセ	月	時	小単元	主な活動内容と 関連する教科・領域	1	動かせ 資質	さたい ・能力	١
ス			名		Α	В	С	D
情 報計 収画 集		4		○見直した活動計画をもとに、地域の課題を解決するための具体的な計画を立てる。	地理——	見好解	協	
実施・改善	1 0	8		○課題解決のための行動を起こす。○課題解決につながったのか検証する。○自分の探究についてまとめる。		多提好解	協受	創
まとめ・	1	2		○マイプロジェクトについて発表する。○他の人の発表を聞いて、意見や感想を述べる。			伝受	
振 り 返り		1		〇一年間の地域創造学を振り返り、まとめる。				感肯

住田町立 世田米·有住 小学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画

単元名 けいかくをたてよう

単元の目標

〇住田(有住・世田米)の「楽しいな」「行ってみたいな」「だいすき!」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。【社会参画に関する資質能力】

評価規準

評価規	.华	観点		評価規準
		地域理解	【地理】	2
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・住田(有住・世田米)の「楽しいな」「行ってみたいな」「だいすき!」を見つけていくことを確認し、教師と一緒に1年間の計画を立てることができる。
	社会参	2 ☆多角的・多面的 に考えるカ	【☆多】	•
	会参画に関する資	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	•
	質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	
	カ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	•
	C 関人	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	•
	R する資係 質形	2 ☆協働する力	【☆協】	
	能成力に	3 ★他者受容	【★受】	•
	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	関自 す律 る的 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	
	質動 能に 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導

(全 2 時間)

単元の	7日今	•		(主 2 时间)						
プロセス	月	月	時	1 .	時	小 単 主な活動内容と 元 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
			Į		Α	В	С	D		
課題設定		1		地域創造学の学習について知る。 住田(有住・世田米)の「楽しいな」「行ってみたいな」「だいすき!」を見つけていくことを確認し、学習の見通しを持つ。 ①学校の中や周り、地域の楽しそうなところを考え、話し合う。		見				
見通しを持つ	4	1	画	②考えた楽しそうなところを分類(学校の中、外、地域、四季など)し、1年間の見通しをもつ。 ・学校の中(学校探検) ・学校の外(校庭、公園、木) ・地域(種山、気仙川)など ・虫や花、野菜(あさがお、ミニトマト、オクラなど)		見				

世田米·有住 小学校 第 1 学年 地域創造学 単元計画 しようがっこうだいすき 住田町立

単元名

単元の目標

- **/ 日保** ○学校には様々な仕組みやきまりがあることを知り、それを守って行動することができる。 【社会参画に関する資質能力】 ○自分のことをみんなの前で話したり、友達の話すことを聞いたりすることができる。 【人間関係形成に関する資質能力】 ○学校やその周辺のひと・もの・ことについて関心を持ち、楽しく学校生活を送ろうとする。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規進

評価規準 観点				評価規準			
	A ②地域理解		【地理】	・学校の内外を探検したり、学校にいる人と交流したりして、その楽しさ、よさに気付くことができる。			
	В	1 ☆見通す力	【☆見】	・学校の内外を探検することを知り、どんなひと・もの・ことがあるのか予想し、教師と一緒に計画を立てることができる。			
	社会参	2 ☆多角的·多面的 に考えるカ	【☆多】	・学校の内外の探検の中で、自分なりの「楽しい」を見つけ、その理由を考えることができる。			
	画 に 関	3 ☆提案・発信するカ	【☆提】	・学校の内外の探検の中で見つけた「楽しい」について、絵や言葉などで表すことができる。			
	『する資質能	4 ★好奇心·探究心	【★好】	・学校の内外の探検に興味・関心をもち、学校のひと・もの・ことに積極的に関わることができる。			
	ቻ	5 ★困難を解決 しようとする心	【★解】	・体験活動の中で困ったことがあっても、周りの人に相談したり助け合ったりしながら、最後までやり遂げることができる。			
	С	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思ったことを伝えたり、友達の思ったことを聞いたりすることができる。			
	関する資	2 ☆協働する力	【☆協】	・身近な人々と交流しながら、力を合わせて取り組むことができる。			
	質形 能成 力に	3 ★他者受容	【★受】	・友達と楽しく活動を積み重ねることで、友達の考えを知ることができる。			
-	D	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学校の内外の探検を通して学んだことを、今後の生活に生かそうすることができる。			
	関自 する 資活	2 ☆創出する力	【☆創】	・学校内外の探検で出合ったひと・もの・ことに触れて、面白さ、楽しさ、よさを感じ、さらに関わりあおうとする。			
	貝店 質動 能 力	3 ★自己肯定感	【★肯】	・学校の施設の様子や学校生活を支えている人や友だちのことがわかったことを喜び、前向き に過ごそうとする気持ちをもつことができる。			

単元の指導 (全 18 時間)

単元の	/1日 冬	_		(全 18 時間)					
プロセー	月	時	小単元な	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせた(資質・能力				
ス					名		Α	В	С
情報収集 実施・改善	4	3	スタートブック	○学校のトイレ、靴箱、水道などの使い方や、給食の準備の仕方などを知る。 【道徳】よりよい学校生活、集団生活の充実「ようこそ、1ねんせい」 節度、節制「べんきょうがはじまりますよ」		好			
現状把握問題の理解		1		○教師に引率されて、学校の校舎内を見て歩き、校舎内の大体を知る。		好			
現状把握問題の理解		1		○教師に引率されて、校庭の施設などを見て歩き、遊具の使い方や校庭での遊び方を知る。		好			
見通しを持つ		1		○自分の名前を先生方に覚えてもらうために、自己紹介に使う名刺を作る。 【国語】どうぞよろしく		見	伝		
見通しを持つ計画する	-	1	がっこ	〇自己紹介の仕方や、職員室や教室に入室する練習をする。 【道徳】礼儀「あいさつ」 【国語】なんていおうかな こえのおおきさどうするの		見	伝		
実施・改善	=	1	こうをたんけん	○校長室や職員室、保健室、ことばの教室などを訪問し、先生方に自己紹介をして交流する。			伝	創	
実施・改善	4	2	しよう	○2年生と一緒に、学校の校舎内を見て歩く。			他		
振り返りまとめ	5	1		○2年生と一緒にどんな教室があったか、どんな先生がいたかなどを話し合いながら活動を振り返る。 【道徳】感謝「がっこうにはね」		提			
実施・改善		1		〇もう一度見に行きたい教室に自分たちで行き、詳しく観察してくる。 【国語】わけをはなそう		多	好		
振り返りまとめ		2		○探検で発見したことや気がついたこと、見つけた楽しいなどを話し合ってカードに記録し、学校探検全体の活動を振り返る。		提	伝		
見通しを持つ		1	がっこうの	〇学校の周りにはどんなものがあるか(虫、花、木、公園、川)を考え、きまりや約束を確かめながら(信号、横断歩道など)探検の計画を立てる。。		見			
実施・改善		2	まわりをたん	〇学校の周りにの楽しいを見つけに行く。(「ちいきのきせつをかんじよう」の校舎外の探検に合わせて) 〇教師に引率されて学校の周りを歩き、通学路の安全な歩き方を確かめる。		多			
振り返りまとめ		1	けんしよう	○探検で発見したことや気がついたこと、見つけた楽しいを話し合い、カードに記録する。		提	伝		